

報 告 第 1 号

平成 22 年度高知県公立高等学校入学者選抜に係る アンケート調査の結果に関する報告

平成 22 年度入学者の募集から変更した公立高等学校の入学者選抜制度に
関して、生徒やその保護者等に対して実施したアンケート調査の結果につい
て別紙のとおり報告します。

平成22年度高知県公立高等学校入学者選抜に係るアンケート調査の結果について(概要)

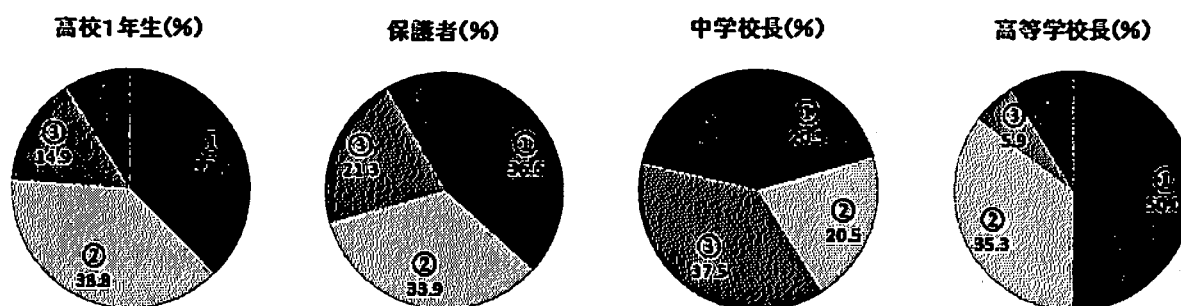
高等学校課

平成22年度高知県公立高等学校入学者選抜から入試制度を変更したことについて、県内の高等学校の1年生(1906人、各学校1学年4クラス以上の学校は2クラス、その他は1クラスを抽出して実施)とその保護者(1435人、対象は生徒と同じ)、県内の中学校長(112人)及び高等学校長(34人)にアンケートを実施した。

I 前期選抜の定員割合の上限を80%としたことについて

質問 前期選抜の定員割合の上限を50%から80%にしたことについて、どう思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う



<概況>

選択肢①及び②を選んだ肯定的な回答は、高校1年生は1906人のうち76.2%、保護者は1435人のうち70.5%、中学校長は112人のうち41.0%、高等学校長は34人のうち85.3%であった。

一方、中学校長は58.9%が否定的な回答をしている。その理由としては、「前期選抜で不合格となった生徒の割合が減少したことから、その生徒の後期選抜への精神的な負担が大きいから」という回答が最も多く、否定的な回答をした理由のうちの42.0%であった。

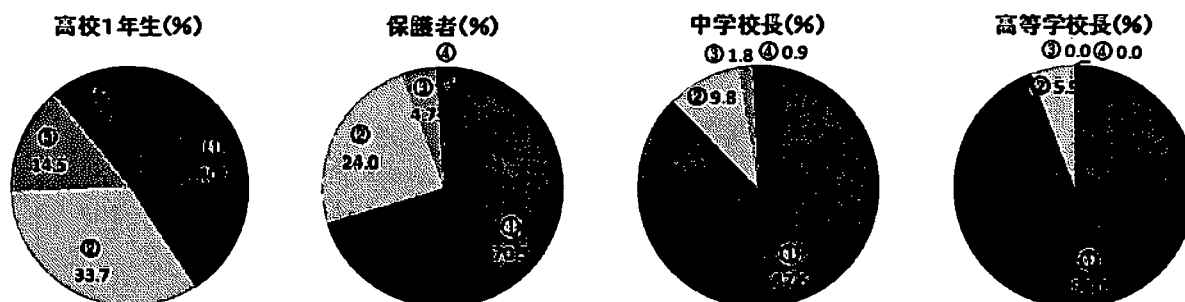
<課題の検証>

- 後期選抜の定員が前期選抜と比べて少ないことが要因と考える。
- 平成22年度入学者選抜では、
 - ① 全日制の課程における後期選抜の定員は1668人で、志願者は966名であり、志願倍率は0.58倍であった。
 - ② 高知市にある学校(岡豊高校を含む)に限ってみると後期選抜の定員435人に対して志願者は382人であり、志願倍率は0.88倍であった。
- ①、②から募集割合が少なくなった後期選抜においても極端に狭き門であるということは考えられない。
- 平成23年度入学者選抜では、後期選抜においても志願先変更期間を設けたことから、このような後期選抜は狭き門で厳しいという中学生の気持ちも一定改善されるのではないかと考える。

II 前期選抜で、共通の5教科の学力検査を実施したことについて

質問 前期選抜で、共通の5教科の学力検査を実施したことについて、どう思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う



<概況>

選択肢①及び②を選んだ肯定的な回答は、高校1年生は1904人のうち74.4%、保護者は1439人のうち94.3%、中学校長は112人のうち97.3%、高等学校長は34人のうち100%であった。

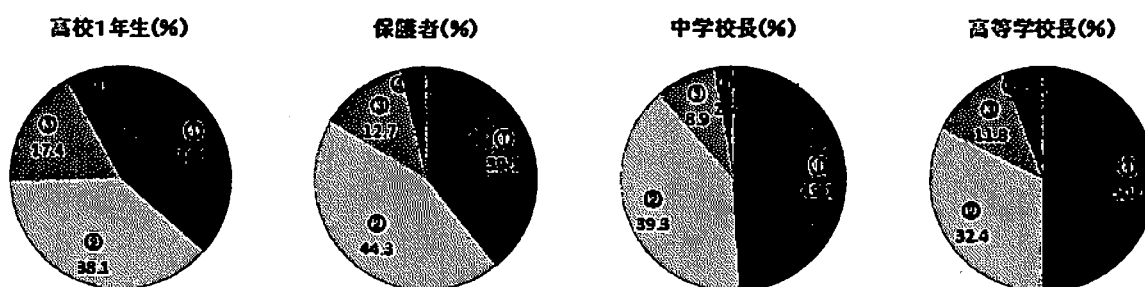
<課題の検証>

- 否定的な回答をした高校1年生のうち、「学力検査の結果が入試の可否の結果に大きく影響すると思うから」という回答が35.5%、「勉強が苦手なので高校に進学する自信がもてなかったから」という回答が34.1%であった。このように自分の学力に不安を感じている生徒がいることが明らかとなった。
- 県教育委員会では、学力向上・いじめ問題等対策計画を策定し、中学校においても、基礎学力の定着や家庭学習習慣の定着を図る取組を進めており、各学校において学力の向上について様々な取組を推進している。このような取組を通して、中学生の学力向上が図られることが課題解決につながると考える。

III 前期選抜の実施時期について

質問 前期選抜を2月上旬に実施し、後期選抜との間隔を詰めたことについて、どう思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う



<概況>

選択肢①及び②を選んだ肯定的な回答は、高校1年生は1893人のうち74.4%、保護者は1421人のうち83.4%、中学校長は112人のうち88.4%、高等学校長は34人のうち82.4%であった。

<課題の検証>

- 否定的な回答は、高校1年生で25.6%と最も多く、否定的な回答をした高校1年生のうち、「後期選抜に向けて勉強する期間が足りなかったから」という回答が56.4%であった。
- 「前期選抜に共通の5教科の学力検査を実施することについて」との質問と同様に、県教育委員

会では、学力向上・いじめ問題等対策計画を策定し、中学校においても、基礎学力の定着や家庭学習習慣の定着を図る取組を進めており、各学校において学力の向上について様々な取組を推進している。このような取組を通して、中学生の学力向上が図られることが課題解決につながると考える。

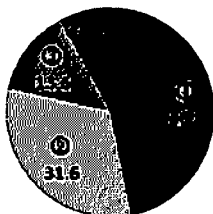
- 後期選抜の志願先の決定時期などの課題があるが、今回は新しい入試制度になって初めての入試であったこともあるので、中学校の進路指導にも不慣れな点があったと考えられ、この入試制度の経験を重ねることで、今後改善されると考えられる。

Ⅳ 通学区域について

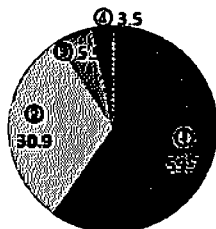
質問 通学区域について、高知学区以外の学区を撤廃し、高知学区において学区外からの入学枠を10%から15%に拡大したことについて、どのように思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

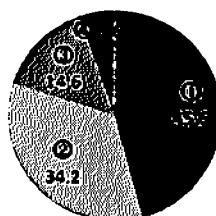
高知学区内に住んでいる
高校1年生(%)



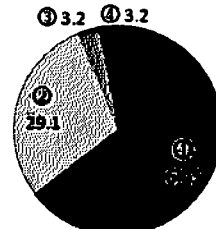
高知学区外に住んでいる
高校1年生(%)



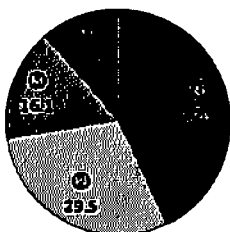
高知学区内に住んでいる
保護者(%)



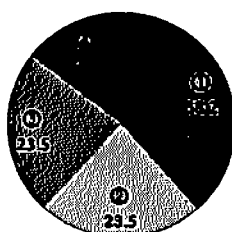
高知学区外に住んでいる
保護者(%)



中学校長(%)



高等学校長(%)



<概況>

選択肢①及び②を選んだ肯定的な回答は、高知学区内に住んでいる高校1年生では900人のうち78.4%であり、高知学区外に住んでいる高校1年生では919人のうち90.6%であった。高知学区内に住んでいる保護者では555人のうち79.8%であり、高知学区外に住んでいる保護者では724人のうち93.6%であった。中学校長では112人のうち72.4%であり、高等学校長では34人のうち61.7%であった。

<課題の検証>

- 否定的な回答をした高校1年生のうち、「高知学区内の生徒が不利になる。」という趣旨の意見が多かった。保護者では、「高知学区内の定員が減少する。」「高知学区外の高校の生徒が少なくなる。」などの趣旨の意見が多かった。中学校長では、「高知学区の生徒が遠距離通学をすることになりはしないか。」「高知学区外の高校が廃れるのではないか。」などの趣旨の意見があった。高等学校長では、「志願者が高知市に集中するのではないか。」などの意見があった。
- 遠距離通学への負担については、奨学金等の周知を図っている。また、高知学区外の高校への志願者が少なくなるのではないかとということについては、志願者を確保できるように各高等学校が特色化を図るよう、県教育委員会として更に支援していく。

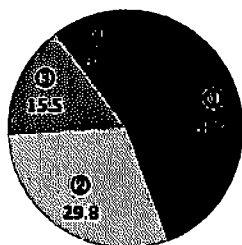
V 志願理由書について

1 高校1年生及び保護者への質問

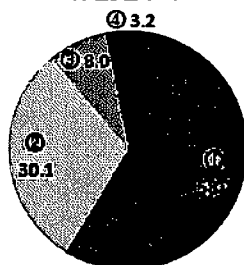
質問 前期選抜、後期選抜、再募集のそれぞれで志願理由書を書くことについて、どのように思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

高校1年生(%)



保護者(%)



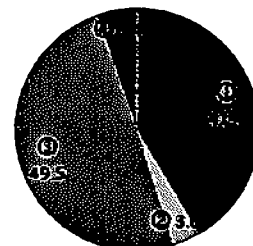
選択肢①及び②を選んだ肯定的な回答は、高校1年生では、1889人のうち74.0%であった。保護者では、1420人のうち88.8%であった。

2 中学校長への質問について

質問 志願理由書について、どう思いますか。

- ① 受験する生徒を理解する選考資料としてすべての選抜で必要である
 ② 学力検査のある前期選抜には必要ない
 ③ 後期選抜・再募集には必要ない
 ④ すべての選抜で必要ない

中学校長(%)



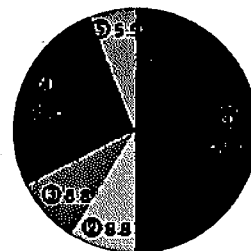
中学校長の回答としては、112人のうち、「後期選抜・再募集には必要ない」という回答が49.5%で最も多く、「受験する生徒を理解する選考資料としてすべての選抜で必要である」という回答が41.4%で次に多かった。

3 高等学校長への質問について

質問 志願理由書について、どのように思いますか。

- ① 選考や面接の資料として有用であり、すべての選抜で必要である
 ② 選考や面接の資料として有用ではあるが、学力検査のある前期選抜には必要ない
 ③ 選考や面接の資料として有用ではあるが、後期選抜以降には必要ない
 ④ 選考や面接の資料として有用ではあるが、同じ学校を受験する場合、後期選抜以降には必要ない
 ⑤ 選考や面接の資料として有用ではないため、すべての選抜で必要ない

高等学校長(%)



高等学校長では、34人のうち、「選考や面接の資料として有用であり、すべての選抜で必要である」という回答が50.0%で最も多く、「選考や面接の資料として有用ではあるが、同じ学校を受験する場合、後期選抜以降には必要ない」という回答が26.5%と次に多かった。

4 志願理由書についてのまとめ

高校1年生、保護者、中学校長、高等学校長のアンケート結果を総合すると、学校関係者では様々な生徒に配慮していることから意見が分かれているが、高校1年生や保護者の結果がそれぞれの選抜で提出することを肯定する回答が多いことから、志願理由書については、前期選抜、後期選抜、再募集のそれぞれの選抜において志願理由書を提出することが必要であるという意見が多かった。

VI 総合所見

今回のアンケートでは、①前期選抜の定員割合の上限を80%としたこと、②前期選抜の実施時期を2月上旬として後期選抜との間隔を詰めたこと、③通学区域について、高知学区以外の学区を撤廃し、高知学区において学区外からの入学枠を10%から15%に拡大したこと、④前期選抜、後期選抜、再募集のそれぞれで志願理由書を書くことの4つの内容について調査を行った。アンケートの結果としては、いずれも肯定的な回答が多い傾向にあった。

平成22年度高知県公立高等学校入学者選抜に係るアンケート調査の結果について

高等学校課

平成22年度高知県公立高等学校入学者選抜から入試制度を変更したことについて、県内の高等学校の1年生(1906人、各学校1学年4クラス以上の学校は2クラス、その他は1クラスを抽出して実施)とその保護者(1435人、対象は生徒と同じ)、県内の中学校長(112人)及び高等学校長(34人)にアンケートを実施した。

Ⅰ 前期選抜の定員割合の上限を80%としたことについて

1 質問 前期選抜の定員割合の上限を50%から80%にしたことについて、どう思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

(1) 高校1年生(有効回答数 1906人)

	全体(人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	712	161	97	187	139	128
②	739	126	112	231	121	149
③	284	30	69	107	46	32
④	171	23	39	55	35	19

	全体(%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	37.4	47.4	30.6	32.2	40.8	39.0
②	38.8	37.1	35.3	39.8	35.5	45.4
③	14.9	8.8	21.8	18.4	13.5	9.8
④	9.0	6.8	12.3	9.5	10.3	5.8

(2) 保護者(有効回答数 1435人)

	全体(人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	525	116	79	123	98	109
②	487	97	67	134	93	96
③	305	38	57	115	36	59
④	118	19	32	37	16	14

	全体(%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	36.6	43.0	33.6	30.1	40.3	39.2
②	33.9	35.9	28.5	32.8	38.3	34.5
③	21.3	14.1	24.3	28.1	14.8	21.2
④	8.2	7.0	13.6	9.0	6.6	5.0

(3) 中学校長数 (有効回答数 112 人)

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	23	6	1	12	4
②	23	6	2	10	5
③	42	9	8	12	13
④	24	4	7	9	4

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	20.5	24.0	5.6	27.9	15.4
②	20.5	24.0	11.1	23.3	19.2
③	37.5	36.0	44.4	27.9	50.0
④	21.4	16.0	38.9	20.9	15.4

(4) 高等学校長 (有効回答数 34 人)

	全体 (人)	全体 (%)
①	17	50.0
②	12	35.3
③	2	5.9
④	3	8.8

2 肯定的な回答をした理由について

(1) 高校 1 年生

- ① 前期選抜で行きたい学校へ合格できる可能性が高くなったから
- ② 自分の学力も考えて高校を選択できたから
- ③ 早く高校が決まり、落ち着いて卒業までの中学校生活を送れたから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	854	185	131	229	149	160
②	256	47	36	77	49	47
③	310	48	40	100	60	62
④	39	6	3	16	5	9

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	58.5	64.7	62.4	54.3	56.7	57.6
②	17.5	16.4	17.1	18.2	18.6	16.9
③	21.2	16.8	19.0	23.7	22.8	22.3
④	2.7	2.1	1.4	3.8	1.9	3.2

その他

- ・ 前期落ちたくないはず。だから勉強する。その結果、学力は向上する。
- ・ 前期でほぼ決まる事によって、自学の向上が図れたから。 ・ 遅かれ早かれいずれは決まる事だから。
- ・ 前期選抜で落ちてしまった人が少なくなったとき、私の中学では、その少ない人数のために何ができるのか、何をすべきなのか、皆が考えて行動でき、すばらしい中学最後の生活を送れたから。
落ちたら危ないという危機感のおかげで一生懸命できた。
- ・ 全体の学力が上がると思う。 ・ 絶対に受かりたくて一生懸命勉強できたから。
- ・ 制度が変わり後期はもうないと考えたより一層テスト勉強にも力が入ったから

- ・ ある意味競争率が上がるし、ほぼ1発勝負なのでみんなが本気で勉強するから

(2) 保護者

- ① 前期選抜で行きたい学校へ合格できる可能性が高くなったから
- ② 子どもが自分の学力を考えて高校を選択できたから
- ③ 子どもが進学できる高校が早く決まり、落ち着いて卒業まで中学校生活を送れたから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	478	114	73	118	80	93
②	324	57	48	95	60	64
③	206	44	19	44	42	57
④	20	2	4	6	2	6

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	46.5	52.5	50.7	44.9	43.5	42.3
②	31.5	26.3	33.3	36.1	32.6	29.1
③	20.0	20.3	13.2	16.7	22.8	25.9
④	1.9	0.9	2.8	2.3	1.1	2.7

その他

- ・ 前期の割合がどうかというより変更初年度の混乱で大変だった。前までの資料が全く参考にならず、先生方も混乱していたので、もっといろいろな多くの情報が欲しかった。
- ・ 後期が厳しいと、勉強する姿勢が生まれた。 ・ 将来のことを真剣に考えるきっかけとなった。
- ・ 学力の安定、学力の向上を考えていけるとよいと思う。
- ・ どうしても前期で合格しなければと少しでも気合いが入ると思うから前向きになると思う。
- ・ 前期後期と分ける必要があるのか？1回の試験と再募集で十分ではないか。
- ・ この制度に疑問に思う。可能性を広げられる面では良いと思うが子供が10年後にどうなり、その結果がどのように影響しているかなど一言で言えない。
- ・ 郡部の成績の良い子が市内の学校へ入学しやすくなる

(3) 中学校校長

- ① 自己推薦形式のため定員割合が50%であった昨年度入試と比べて前期選抜で進学先を決定できた生徒が増えたから
- ② 生徒が自分の進路や学力を十分に考えて進学先の高校を選択するようになったから
- ③ 生徒が入試に向けて学習に積極的に取り組むようになったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	14	5	1	7	1
②	20	7	1	10	2
③	11	0	1	5	5
④	1	0	0	0	1

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	30.4	41.7	33.3	31.8	11.1
②	43.5	58.3	33.3	45.5	22.2
③	23.9	0.0	33.3	22.7	55.6
④	2.2	0.0	0	0	11.1

その他

- ・ 以前より若干真剣に考えるようになった。

(4) 高等学校長

- ① 本校に進学したいという目的意識が高い生徒を確保できるから
- ② これまでの前期選抜における本校への志願者の出願状況から定員割合の上限を50%から80%にすることが適切だから
- ③ 複数の受験機会を設定するうえで適切な割合であるから
- ④ その他

	全体 (人)		全体 (%)
①	18	①	62.1
②	4	②	13.8
③	3	③	10.3
④	4	④	13.8

その他

- ・ 本来の学力検査を課して入学を認めるのが筋であり、それによってそのウエートを考えたとき80%がふさわしいと考える。
- ・ 特定校だけ100%とし、再受験の機会すらないのは問題である。
- ・ 本校の場合は、現在のところ80%でも50%でも大勢に影響はない。しかし、市内周辺校にとっては80%枠がよいと考える。後期20%となると多くの受験生が不合格を怖れて市内校を敬遠し、周辺校を受験することになる。昨年度はそういう傾向があった。
- ・ 本校の特色を明確にできた。

3 否定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 前期選抜で合格したいので、定員割合を100%にすることがよいと思うから
- ② 前期選抜で不合格になると、後期選抜では残りの定員が少ないので合格することが厳しいと思うから
- ③ 多くの生徒が早く合格して学級が落ち着かなくなったと思うから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	41	10	4	13	5	9
②	291	33	66	114	52	26
③	89	8	23	26	19	13
④	40	2	13	16	6	3

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	8.9	18.9	3.8	7.7	6.1	17.6
②	63.1	62.3	62.3	67.5	63.4	51.0
③	19.3	15.1	21.7	15.4	23.2	25.5
④	8.7	3.8	12.3	9.5	7.3	5.9

その他

- ・ 受かっていない人があまりいなくてかわいそうだった。
- ・ 冒険できなくなる。ぎりぎり合格できた人が増え、レベルが落ちる。高校の学力が落ちているような気がする。
- ・ 翌年の受験生がビビって春野高校に来なくなるかもしれないから。
- ・ 生徒会とかやっている人がむごい。
- ・ みんな受かるところを狙って自分の本当に行きたい学校を受けないから。
- ・ 前期で合格してしまうと気が緩むから。
- ・ 合格確実なところを受けてしまって本当の志望校よりレベルを下げてしまう人が多い。
- ・ 落ちたらどうしようと不安になって、より安全な高校を受けるといった傾向が見られたから。
- ・ 前期で落ちた人が学校でしんどい思いをするから。
- ・ レベルの高い学校を受験する人が少なくなってしまったと思うから。

(2) 保護者

- ① 前期選抜で合格したいので、定員割合を100%にすることがよいと思うから
- ② 前期選抜で不合格になると、後期選抜では残りの定員が少ないので合格することが厳しいと思うから
- ③ 多くの生徒が早く合格して学級が落ち着かなくなったと思うから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	29	2	8	11	5	3
②	269	40	48	102	41	38
③	73	10	16	25	5	17
④	55	8	15	21	5	6

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	6.8	3.3	9.2	6.9	8.9	4.7
②	63.1	66.7	55.2	64.2	73.2	59.4
③	17.1	16.7	18.4	15.7	8.9	26.6
④	12.9	13.3	17.2	13.2	8.9	9.4

その他

- ・ 中学校の先生が安全圏を受験するようすすめるから。
- ・ 前期選抜で合格したいので十分な安全策を選ぶから。
- ・ 前年度の50%（前期）にもどした方がよいと思います。
- ・ 安全に合格するために下のランクの受験になり、上に行きたい子どものチャンスをつぶす。
- ・ 後期選抜では変更ができなかったので、前期選抜を慎重に安全に決めなければならない、子どもが精神的にまいっていた。
- ・ 前期での定員割合が高い程チャレンジすることができないから。
- ・ 早い時期に合格が決まると気もゆるむし、勉強もしなくなるから。
- ・ 安全策としてランクを下げた生徒が多かったのではないかと思う。後期選抜はごく少数になるのは、該当する人にとってはかなり厳しい状態だと思う。
- ・ 後期選抜の合格の厳しいことを考えると、前期選抜の志望校のレベルを下げることになり、全体にその傾向が見られた。
- ・ 選抜は1回でよい。
- ・ 前期、後期と分けている意味が分からない
- ・ 前期だけで決めるのは受験の余地がなくなり、レベルを下げて低い学校への受験になる。
- ・ 前期で合格したために、行きたい学校より行ける学校を選ぶことになりがち。
- ・ 全員が最後までがんばることが大事。
- ・ 合格安全を選んでレベルを下げることなく行きたい高校へトライする希望をもってほしい。
- ・ 今回の入試では志望校のランクを落とした子供がたくさんいて、本当に入りたい学校をあきらめた子供がいたから。
- ・ できる子（頭がいい子）のための制度になっている気がする。
- ・ 行きたい学校へ挑戦できない生徒が多くなったのではないかと思うから。
- ・ 行きたい学校ではなく、行ける学校を選ぶことになる。その選択をした子どもは、高校生活楽しめない。
- ・ 80%も合格するのに不合格だったらショックが大きいと思う。小規模校なら前期不合格者1名になる事もある。
- ・ ほとんどの子どもが前期で合格すると後期に残った子どもの精神的プレッシャーや重圧に負けそうになる。また、前期で合格したいがために志望校のハードルを下げた子どももいたように思うから。
- ・ 前期で合格しておきたいと思うので自分の学力で入れそうな学校を努力をせずに求めてしまう子が多いように思う。
- ・ 多くの生徒が早くの合格に安心して2月3月勉強しなくなる。
- ・ 前期不合格者が同じ学校を再チャレンジしにくくなり、他の学校にかえてしまう。
- ・ 前期選抜で確実に合格させる為、ランクを下げて受験させた中学校が多かった様に聞いたので。
- ・ 前期、後期に分けず以前の制度がよい。
- ・ 合格し安心したのか勉強しなくなった。
- ・ 5.0%のときより生徒が「行きたい学校」より「行ける学校」を選択する確率が高まった。落ちる20%になるのは生徒も親も教師もきついです。
- ・ 後期の時期までじっくり学習する時間を多く持たせたほうがよい。
- ・ 試験は1回でよい。前期があるために2学期からは入試の準備が必要で2学期の学校行事に余裕がなくなっ

ていると思う（中学校と先生に）。

- ・ 一人だけ卒業式のときに進学が決まらなかった生徒がいた。
- ・ 確実に前期で合格できる学校を受験するから。
- ・ 皆前期で合格したいから、行きたい学校より受かる学校を受験する傾向になる。
- ・ 前期・後期を無くして、再募集だけにしたら良いと思う。
- ・ 合格枠が増えることで、ランクを落とした受験となり勉強しなくなった。

(3) 中学校長

- ① 昨年度入試より定員割合を高くしたため、前期選抜で合格した生徒が増え、その生徒のその後の中学校での学習意欲を卒業まで保つことが困難であるから
- ② 前期選抜で不合格となった生徒の割合が減少したことから、その生徒の後期選抜への精神的な負担が大きいから
- ③ 従前の入試のように前期選抜と後期選抜の定員割合がほぼ同じである方が、生徒にとって後期選抜に再チャレンジしやすいから
- ④ その他

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校(人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	16	3	3	5	5
②	29	6	6	8	8
③	18	4	5	4	4
④	6	0	2	4	0

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校(%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	23.2	23.1	18.8	23.8	29.4
②	42.0	46.2	37.5	38.1	47.1
③	26.1	30.8	31.3	19.0	23.5
④	8.7	0.0	12.5	19.0	0.0

その他

- ・ 前期・後期ともに5教科の学力検査を実施し、その合計点で合否を決定する方法なども考えられる。
- ・ 前期選抜は本当に優れた者については3教科と面接にし、後期を5教科とする。
- ・ 前期・後期ともに5教科の学力検査を実施し、その合計点で合否を決定する方法なども考えられる。
- ・ 後期選抜の進路選択が大変難しくなった。
- ・ 前期・後期選抜という制度に反対。受験機会の拡大は失敗体験の拡大になり意欲的な人生設計に課題が残る。
- ・ ①②両方考えられる。
- ・ 100%にした方がすっきりする。
- ・ ①②ともにあてはまります。学習(教科)の年間計画の前倒しを実施するなどの不都合が生じました。
- ・ ①②はもちろん、多くの問題があり、前期選抜そのものをやめるべきである。

(4) 高等学校長

- ① これまでの自校への志願者の出願状況から定員割合を100%にすることが適切だと思うから
- ② これまでの自校への志願者の出願状況から定員割合の上限を50%にもどすことが適切だと思うから
- ③ 推薦入試導入当初の後期選抜に多くの割合を残した形で、定員割合の上限を10~20%にすることが適切だと思うから
- ④ その他

	全体 (人)
①	2
②	2
③	1
④	1

	全体 (%)
①	33.3
②	33.3
③	16.7
④	16.7

その他

- ・ 自校の特色を明確にできた。

II 前期選抜で、共通の5教科の学力検査を実施したことについて

1 質問 前期選抜で、共通の5教科の学力検査を実施したことについて、どう思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

(1) 高校1年生 (有効回答数 1904 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	774	123	154	247	118	132
②	641	112	91	181	127	130
③	276	61	39	75	57	44
④	213	45	32	74	44	18

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	40.7	36.1	48.7	42.8	34.1	40.7
②	33.7	32.8	28.8	31.4	36.7	40.1
③	14.5	17.9	12.3	13.0	16.5	13.6
④	11.2	13.2	10.1	12.8	12.7	5.6

(2) 保護者 (有効回答数 1439 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	1012	196	178	278	153	207
②	345	62	45	100	77	61
③	67	14	7	24	10	12
④	15	2	3	5	5	0

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	70.3	71.5	76.4	68.3	62.4	73.9
②	24.0	22.6	19.3	24.6	31.4	21.8
③	4.7	5.1	3.0	5.9	4.1	4.3
④	1.0	0.7	1.3	1.2	2.0	0.0

(3) 中学校長 (有効回答数 112 人)

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	98	24	16	37	21
②	11	0	3	3	5
③	2	1	0	1	0
④	1	0	0	1	0

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	87.5	96.0	84.2	88.1	80.8
②	9.8	0.0	15.8	7.1	19.2
③	1.8	4.0	0	2.4	0.0
④	0.9	0.0	0	2.4	0.0

(4) 高等学校長 (有効回答数 34 人)

	全体 (人)		全体 (%)
①	32	①	94.1
②	2	②	5.9
③	0	③	0.0
④	0	④	0.0

1 肯定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 学力検査という目標ができ、学習に熱心に取り組めたから
- ② 自分がこれまで学習して身に付けた内容を生かして挑戦できたから
- ③ 学力検査があった方が作文や面接だけの入試より合否の結果に納得できるから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	449	88	73	111	90	87
②	381	69	53	125	72	62
③	537	76	105	177	76	103
④	42	4	9	17	5	7

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	31.9	37.1	30.4	25.8	37.0	33.6
②	27.0	29.1	22.1	29.1	29.6	23.9
③	38.1	32.1	43.8	41.2	31.3	39.8
④	3.0	1.7	3.8	4.0	2.1	2.7

その他

- ・ 三教科より、五教科の方が得意だったから。 ・ 教科が得意じゃないから。
- ・ 得意な科目が試験にないと困るから。 ・ 自分の苦手な教科を少しはカバーできるから。
- ・ 苦手な教科と得意な教科の総合点だから。自分の得意な社会と理科があるから。
- ・ 社会とかが得意な人が点を取れるから。
- ・ 最近を受検にあまり危機感を抱く人がいなかったが、この制度ならば少しは危機感を抱く人が増えると思うから。
- ・ 5教科だけだと得意分野が入っているから。 ・ 作文が苦手だから。
- ・ 作文や面接だけで人を決めてもらっては困るから。 ・ 理科と社会が英語国語よりもできたから。
- ・ 今までのように1教科だと自分の得意分野で点数をとれないから。
- ・ 成績が悪い人でもがんばれる。 ・ 3教科の中に得意なのがないから。
- ・ 中学校によって内申が違うから学力で決めた方が良い。 ・ 数英国が苦手でも理社で挽回できるから。
- ・ 苦手教科を、他の教科でカバーできるから。
- ・ 高校入学後、授業についていけやすいから。
- ・ 高校に入ってから勉強に困らないと思う。 ・ 勉強ができるから。
- ・ 他の県では当たり前。

(2) 保護者

- ① 子どもに学力検査という目標ができ、学習に熱心に取り組めたから
- ② 子どもがこれまで学習し身に付けてきた内容を生かして挑戦できたから
- ③ 従前のような作文や面接だけの自己推薦形式の前期選抜と比べて、学力検査があった方が合否の結果に納得できるから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	544	110	80	142	93	119
②	284	59	52	72	51	50
③	497	75	89	159	74	100
④	26	4	4	9	9	0

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	40.3	44.4	35.6	37.2	41.0	44.2
②	21.0	23.8	23.1	18.8	22.5	18.6
③	36.8	30.2	39.6	41.6	32.6	37.2
④	1.9	1.6	1.8	2.4	4.0	0.0

その他

- ・ 平等な立場で入試に臨めるから。
- ・ 前期選抜合格者が増えた分、後期選抜でも5教科なら受験者が精神的にも不利になるから。
- ・ 一定水準の生徒が集まることにより、クラス運営がやりやすいと思われる。
- ・ 学力検査がないと、子供が勉強しない。高校はまだ個性を伸ばしていく時期だと思うから。
- ・ 従前2科目に面接と選択教科だと、苦手な教科ばかりだったら公平な評価ができない。5教科の平等で見てもらいたい。
- ・ 社会人へ少しずつ近づいてきているので、学習に取り組めた結果を本人が考え、見直す事ができる。
- ・ 学力検査をするのはよいと思いますが、中1の時は自己推薦形式の指導だったので、3年前には決定しておいてほしかった。
- ・ こつこつ勉強を頑張っていることにより、集中する力、基礎学力が身に付き高校生活をスタートするうえで役立つと思うから、苦勞してはいるからこそやる気が起るのでは。
- ・ 最終学歴は大学だと思うから。 ・ 私立ではないのであたりまえだと思う。
- ・ 入試に公平な学力検査があって当然である。 ・ 受験で教科検査がないと勉強しないから。

(3) 中学校長

- ① 生徒にとって学力検査という目標ができ、学習意欲が高くなったから
- ② 従前の自己推薦形式の前期選抜では、学校によって「教科の検査」の有無があり、この「教科の検査」の有無で志願先を決めるなどの安易な高校選択があったが、それがなくなったから
- ③ 生徒が作文や面接だけの入試より合否の結果に納得できたから
- ④ その他

	全体 (人)	東部教育事務所管内の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内の中学校 (高知市を除く) (人)	西部教育事務所管内の中学校 (人)
①	84	21	11	31	21
②	14	3	3	4	4
③	10	0	4	4	1
④	1	0	1	0	0

	全体 (%)	東部教育事務所管内の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内の中学校 (高知市を除く) (%)	西部教育事務所管内の中学校 (%)
①	77.1	87.5	57.9	79.5	80.8
②	12.8	12.5	15.8	10.3	15.4
③	9.2	0.0	21.1	10.3	3.8
④	0.9	0.0	5.3	0	0.0

その他

- ・ 進学先にマッチした学力があるか否かを、選抜する側が正確に把握することが必要だと思うから。

(4) 高等学校長

- ① 従前の自己推薦形式の前期選抜のように3教科までの教科の検査や作文を選択して実施する方式と比べ選考資料となる教科の数が増えて、より適切な選考ができたから
- ② 入学生の学力の状況を正確に把握することができたから
- ③ 自校の教育課程を履修し、修得できる学力が身に付いた生徒を確保できるから
- ④ 自校で問題を作成する負担がなくなったから

	全体 (人)		全体 (%)
①	12	①	36.4
②	19	②	57.6
③	1	③	3.0
④	1	④	3.0

その他

- ・ 中学校段階での学習をしっかりと問い、習熟のレベルの把握ができるから。

2 否定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 作文や面接の方が合格しやすいと思うから
- ② 学力検査の結果が入試の合否の結果に大きく影響すると思うから
- ③ 勉強が苦手なので高校に進学する自信がもてなかったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	111	20	11	40	25	15
②	174	33	28	59	28	26
③	167	41	26	43	37	20
④	38	6	9	12	7	4

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	22.7	20.0	14.9	26.0	25.8	23.1
②	35.5	33.0	37.8	38.3	28.9	40.0
③	34.1	41.0	35.1	27.9	38.1	30.8
④	7.8	6.0	12.2	7.8	7.2	6.2

その他

- ・ 勉強する教科が多いから。 ・ 多すぎて疲れるから。 ・ 5教科も勉強していくのはとても大変だった。
- ・ すべての問題が共通ではなく、一部それぞれの学校独自の問題があったほうがよいと思ったから。
- ・ 5教科は多すぎると思うから。 ・ 理数科なら、理数の勉強をすべきだと思う。
- ・ その当日の試験だけで合否を決められてほしくないから。
- ・ 前のように、前期3教科、後期5教科でいいと思う。
- ・ 僕の場合、5教科でよかったと思っていたが問題が簡単すぎて他の人と差をつけられなかった。
- ・ 詰め込み勉強するだけでどうにかなってしまうから。
- ・ 5教科になると受験勉強が大変だったから。 ・ 3教科ならまだしも5教科はひどい。
- ・ 学力だけでは生徒の本質をみられないから。 ・ 一度にたくさん覚えるので、忘れるのも早くなる。
- ・ 3教科の力が分散してしまう。

(2) 保護者

- ① 作文や面接だけの方が合格しやすいと思うから
- ② 学力検査の結果が、入試の合否の結果に大きく影響すると思うから
- ③ 従前の自己推薦形式の前期選抜のように、子どもの個性を重視した入試制度がよいと思うから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	9	2	0	4	2	1
②	63	11	14	17	6	15
③	40	4	9	11	9	7
④	13	2	2	4	4	1

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	7.2	10.5	0.0	11.1	9.5	4.2
②	50.4	57.9	56.0	47.2	28.6	62.5
③	32.0	21.1	36.0	30.6	42.9	29.2
④	10.4	10.5	8.0	11.1	19.0	4.2

その他

- ・ 検査ではなく、入学試験でいいと思う。 ・ 今の中2から始めたらよかった。
- ・ 共通の学力検査は必要だと思います。それプラス各校のレベルに応じた試験を実施できればよいかなと思います。
- ・ 学校の学力にあった学生を選べるから。
- ・ ペーパー試験だけが全てではない。中学校でしっかりがんばった子どもをとってもらいたい。
- ・ 中学での授業内容がそこまで充実していなかった。 ・ 各学校個別の試験問題にしたらよいと思う。
- ・ 自己表現の苦手な生徒は、作文だけではなかなか難しい。合否の結果に納得できない。

(3) 中学校校長

- ① 従前の推薦入試のように作文や面接だけの方が生徒の指導をしやすいから
- ② 従前の自己推薦形式の前期選抜と比べて、合否の選考で学力検査の結果が大きく影響し、教科以外の生徒の特性を考慮した検査が行われにくいと思うから
- ③ 勉強が苦手な生徒が高校に進学したいという意欲をもちにくくなったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	0	0	0	0	0
②	2	0	1	1	0
③	0	0	0	0	0
④	2	1	0	1	0

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	0.0	0.0	0	0	0.0
②	50.0	0.0	100	50.0	0.0
③	0.0	0.0	0	0	0.0
④	50.0	100.0	0	50.0	0.0

その他

- ・ 優れた生徒だけの選抜にし、やはりしっかり学習しないと高校には行けないという意識を持たせる。
- ・ 特別選抜の特色が薄くなった。

(4) 高等学校長

- ① 従前の自己推薦形式の前期選抜のように志願者の能力をみることのできる学校独自の検査ができなかったから
- ② 従前の自己推薦形式の前期選抜のように3教科までの教科の検査や作文を選択して実施する方式と比べて学力検査の結果が大きく選考に影響するから
- ③ 従前の自己推薦形式の前期選抜のように3教科までの教科の検査や作文を選択して実施する方式と比べて受験する中学生への負担が大きくなったから
- ④ その他

* 選択者なし

III 前期選抜の実施時期について

1 質問 前期選抜を2月上旬に実施し、後期選抜との間隔を詰めたことについて、どう思いますか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

(1) 高校1年生 (有効回答数 1893 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	687	129	116	190	131	121
②	721	125	113	216	129	138
③	329	56	59	117	52	45
④	156	28	26	54	29	19

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	36.3	38.2	36.9	32.9	38.4	37.5
②	38.1	37.0	36.0	37.4	37.8	42.7
③	17.4	16.6	18.8	20.3	15.2	13.9
④	8.2	8.3	8.3	9.4	8.5	5.9

(2) 保護者 (有効回答数 1421 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	556	99	97	148	96	116
②	630	128	97	183	99	123
③	181	30	27	59	34	31
④	54	6	12	18	12	6

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	39.1	37.6	41.6	36.3	39.8	42.0
②	44.3	48.7	41.6	44.9	41.1	44.6
③	12.7	11.4	11.6	14.5	14.1	11.2
④	3.8	2.3	5.2	4.4	5.0	2.2

(3) 中学校長 (有効回答数 112 人)

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	55	13	7	26	9
②	44	10	8	13	13
③	10	2	2	3	3
④	3	0	1	1	1

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	49.1	52.0	38.9	60.5	34.6
②	39.3	40.0	44.4	30.2	50.0
③	8.9	8.0	11.1	7.0	11.5
④	2.7	0.0	5.6	2.3	3.8

(4) 高等学校長 (有効回答数 34 人)

	全体 (人)
①	17
②	11
③	4
④	2

	全体 (%)
①	50.0
②	32.4
③	11.8
④	5.9

1 肯定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 前期選抜への準備が十分にできたから
- ② 後期選抜まで、受験生としての気持ちが持続しやすかったから
- ③ 早く高校が決まったので、落ち着いて卒業までの中学校生活を送ることができたから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	602	117	96	176	115	98
②	487	86	77	133	87	104
③	306	53	54	90	55	54
④	12	2	4	1	2	3

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	42.8	45.3	41.6	44.0	44.4	37.8
②	34.6	33.3	33.3	33.3	33.6	40.2
③	21.7	20.5	23.4	22.5	21.2	20.8
④	0.9	0.8	1.7	0.3	0.8	1.2

その他

- ・ 落ちた人との仲がなおりました。
- ・ 前期選抜で受からなかった人が後期選抜までの長い期間、受かった人と一緒に過ごすのは精神的に負担となるだろうから。
- ・ 前期で落ちて、後期とその間がせまかったら、前期に勉強した分プラス後期に勉強する分とをプラスできるから。(間を開けると忘れる)

(2) 保護者

- ① 前期選抜への準備が十分にできたから
- ② 子どもが、前期選抜で不合格となっても、後期選抜までの期間が短くなり、受験生としての気持ちを持続しやすかったから
- ③ 従前の自己推薦形式の前期選抜のように、子どもの進学先の決定が早すぎるのもよくないと思うから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	431	104	58	123	62	84
②	602	100	100	171	112	119
③	145	26	34	35	16	34
④	14	3	4	2	1	4

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	36.2	44.6	29.6	37.2	32.5	34.9
②	50.5	42.9	51.0	51.7	58.6	49.4
③	12.2	11.2	17.3	10.6	8.4	14.1
④	1.2	1.3	2.0	0.6	0.5	1.7

その他

- ・ 過去にやっていたように3月入試。だめだったら2次募集。その方が中学生は一番勉強すると思う。
- ・ 3月でもよい。
- ・ 前期での合格者と不合格者が同じ教室で過ごすことはどちらにとっても安定しているとは思えないので、少しでも短期間であることがよいのでは。
- ・ もう少し詰めてほしい。卒業式にまだ進路が決まっていないという不安があったのではないかと思います。
- ・ 前期合格者と不合格者が同じ教室で生活するのは不合格の子供にとって精神的にきつい。
- ・ 従前では教科書(単元)が終わってないから。
- ・ 合格生と不合格生との微妙な関係や雰囲気の間が短い方がよい。
- ・ クラスの中で合格、不合格の子がいると間が空きすぎると、空気がずっと張り詰めたままだと思うから。

(3) 中学校校長

- ① 学級の中で、合格した生徒と不合格の生徒の混在する期間が短くなり、昨年度と比べて指導しやすかったから
- ② 昨年度と比べて受験への指導が十分にできるようになったから
- ③ 昨年度と比べて中学校で学習する内容をしっかり学習できるようになったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校(人)	中部教育事務所管内 の中学校(高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	64	18	10	22	14
②	13	3	1	6	3
③	15	1	3	8	3
④	6	1	1	2	2

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校(%)	中部教育事務所管内 の中学校(高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	65.3	78.3	66.7	57.9	63.6
②	13.3	13.0	6.7	15.8	13.6
③	15.3	4.3	20.0	21.1	13.6
④	6.1	4.3	6.7	5.3	9.1

その他

- ・ 入試は将来の為の力をつける良い機会ととらえると、少しでも学力が高まり大学入試や就職試験の力がつくと思う。
- ・ 前期不合格者の進路決定までの期間が短い。
- ・ もう1週間、間隔が詰められると思うから。

- ・ 中学での授業時数を確保し、学習内容の大半が終了した上での選抜が望ましく、前期選抜を3月に行うことが良いと思う。定員の上限が80%や100%であるならば前期選抜、後期選抜を一体化してもよい。
- ・ 間隔を短くしたのは良いが、まだ長すぎる。
- ・ 卒業までしっかり学習していくので、合格、不合格には左右されないと思うが、どちらかといえば①に近いであろう。
- ・ 上記の①～③表現程のものとは言えないが、若干①に近い程度。

(4) 高等学校長

- ① 前期選抜に合格した生徒と不合格の生徒が学級内に混在する期間が短くなり、中学校での指導がしやすくなったと思うから
- ② 入学生が中学校で学習する内容をしっかりと学習してきているから
- ③ 前期選抜の入試事務の準備が十分できたから
- ④ その他

	全体 (人)		全体 (%)
①	16	①	57.1
②	9	②	32.1
③	2	③	7.1
④	1	④	3.6

その他

- ・ 中学校、高等学校、受験生の負担の軽減になる。

2 否定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 前期選抜の結果が分かる前に後期選抜の指導をされたから
- ② 後期選抜に向けて勉強する期間が足りなかったから
- ③ 後期選抜の志願先を決める時間が足りなかったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	89	14	19	37	11	8
②	274	53	43	89	49	40
③	97	8	23	39	17	10
④	26	7	3	10	2	4

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	18.3	17.1	21.6	21.1	13.9	12.9
②	56.4	64.6	48.9	50.9	62.0	64.5
③	20.0	9.8	26.1	22.3	21.5	16.1
④	5.3	8.5	3.4	5.7	2.5	6.5

その他

- ・ 合格発表が卒業式を終えた後だから。 ・ 前期を早めにして、早く受かりたかった。
- ・ もっと早くしてほしい。もう、11月くらいにしたらいい。
- ・ 後期選抜に向けて勉強する時間が足りないと思うから。
- ・ 後期選抜が終わって気が緩むから。 ・ 忙しくて大変だったから。
- ・ もっと早くて良い。 ・ 試験に対する不安があった。

(2) 保護者

- ① 従前の自己推薦形式の前期選抜のように、子どもの進学先が少しでも早く決まった方が安心できるから
- ② 後期選抜に向けて勉強するのに期間が足りなかったから
- ③ 後期選抜の志願先を決める時間が足りなかったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	86	15	11	29	14	17
②	66	12	10	21	13	10
③	76	9	15	24	15	13
④	20	5	3	6	3	3

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	34.7	36.6	28.2	36.3	31.1	39.5
②	26.6	29.3	25.6	26.3	28.9	23.3
③	30.6	22.0	38.5	30.0	33.3	30.2
④	8.1	12.2	7.7	7.5	6.7	7.0

その他

- ・ あまり早く合否を決めると勉強をしなくなる。 ・ 卒業式までに決めてあげたい。
- ・ 前期で落ちた時から気持ちの切替に時間が必要ではないでしょうか。
- ・ クラスの学習環境が合否結果によって変わるのではないかと思います。
- ・ 気持ちの切り替えにも少し時間がかかったので、個人差もありますが、もう少し時間が長い方がよかったです。
- ・ 志願書等の書類をゆっくり書けない。 ・ 試験は1回でよいと思うから。
- ・ 以前のように、スポーツ推薦などの特別推薦をし、後は一括受験のほうがよい。

(3) 中学校校長

- ① 教員がそれぞれの生徒に前期選抜と後期選抜への出願の指導を同時に行うことが必要となり混乱があったから
- ② 前期選抜の結果を受けて後期選抜に向けて勉強するのに期間が足りないから
- ③ 前期選抜の合格発表から後期選抜の出願までの期間が短くなり、後期選抜の志願先高校を決める時間が足りないから
- ④ その他

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校 (人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	3	2	1	0	0
②	2	0	0	1	1
③	6	0	3	1	1
④	6	0	0	3	3

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	17.6	100.0	25.0	0	0.0
②	11.8	0.0	0	20.0	20.0
③	35.3	0.0	75.0	20.0	20.0
④	35.3	0.0	0	60.0	60.0

その他

- ・ 前期選抜で合格できなかった生徒は後期選抜を再募集の感覚で受検しています。受検機会が3回あっても結局不合格の機会が2回あることになっています。
- ・ 後期に向けての生徒のケア、準備が大変であった。
- ・ ②③に加え、2月上旬に80%の設定するのは、決定する生徒、しない生徒との差異が生じるため。(早すぎる)

- ・ 中学卒業が3月15日なのに、2月に進路が決定するというのが理由として分からない。高校や大学とは異なる。
- ・ 前期・後期とわけなくてもよいのでは。3月初めに一本化し、その後再募集の方がよいと思います。
- ・ 不合格者がいなかったので解答なし。

(4) 高等学校長

- ① 受験生が各選抜に対応する時間が十分にあった方がよいから
- ② 後期選抜の入試事務の作業が日程的に厳しいから
- ③ 入試事務以外にも多くの業務がある時期のため忙しかったから
- ④ その他

	全体 (人)
①	1
②	0
③	3
④	2

	全体 (%)
①	16.7
②	0.0
③	50.0
④	33.3

その他

- ・ 高校の卒業式以降が望ましい。
- ・ 前期選抜は3月に行うべきである。

IV 通学区域について

1 質問① あなたが住んでいる市町村は、高知学区ですか。ただし、転勤などで願書を提出する前に通学区域外承認を受けられた方は、高知学区になりますので、ご注意ください。

- ① 高知学区 (南国市、高知市、大豊町、いの町、日高村) である
- ② 高知学区ではない

(1) 高校1年生 (有効回答数 1874 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	909	95	247	429	113	25
②	965	241	67	144	221	292

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	48.5	28.3	78.7	74.9	33.8	7.9
②	51.5	71.7	21.3	25.1	66.2	92.1

(2) 保護者 (有効回答数 1395 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	587	47	182	294	51	13
②	808	220	48	114	172	254

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	42.1	17.6	79.1	72.1	22.9	4.9
②	57.9	82.4	20.9	27.9	77.1	95.1

2 質問② 通学区域について、高知学区以外の学区を撤廃し、高知学区において学区外からの入学枠を10%から15%に拡大したことについて、どのように思いますか。

① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

(1) 高校1年生 (有効回答数 1847 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	988	200	158	287	198	145
②	580	95	78	183	101	123
③	172	22	43	59	26	22
④	107	15	33	42	9	8

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	53.5	60.2	50.6	50.3	59.3	48.7
②	31.4	28.6	25.0	32.0	30.2	41.3
③	9.3	6.6	13.8	10.3	7.8	7.4
④	5.8	4.5	10.6	7.4	2.7	2.7

* 質問①と質問②のクロス集計

	高知学区内に住 んでいる(人)	高知学区外に住 んでいる(人)
①	421	549
②	284	284
③	122	54
④	73	32

	高知学区内に住 んでいる(%)	高知学区外に住 んでいる(%)
①	46.8	59.7
②	31.6	30.9
③	13.6	5.9
④	8.1	3.5

(2) 保護者 (有効回答数 1308 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	741	150	109	214	124	144
②	411	85	63	116	71	76
③	103	12	29	41	8	13
④	53	4	23	14	5	7

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	56.7	59.8	48.7	55.6	59.6	60.0
②	31.4	33.9	28.1	30.1	34.1	31.7
③	7.9	4.8	12.9	10.6	3.8	5.4
④	4.1	1.6	10.3	3.6	2.4	2.9

*** 質問①と質問②のクロス集計**

	高知学区内に住んでいる(人)	高知学区外に住んでいる(人)
①	253	467
②	190	211
③	81	23
④	31	23

	高知学区内に住んでいる(%)	高知学区外に住んでいる(%)
①	45.6	64.5
②	34.2	29.1
③	14.6	3.2
④	5.6	3.2

(3) 中学校長 (有効回答数 112 人)

	全体(人)	東部教育事務所管内の中学校(人)	高知市の中学校(人)	中部教育事務所管内の中学校(高知市を除く)(人)	西部教育事務所管内の中学校(人)
①	48	13	2	28	5
②	33	8	2	6	17
③	18	2	8	5	3
④	13	2	5	5	1

	全体(%)	東部教育事務所管内の中学校(%)	高知市の中学校(%)	中部教育事務所管内の中学校(高知市を除く)(%)	西部教育事務所管内の中学校(%)
①	42.9	52.0	11.8	63.6	19.2
②	29.5	32.0	11.8	13.6	65.4
③	16.1	8.0	47.1	11.4	11.5
④	11.6	8.0	29.4	11.4	3.8

(4) 高等学校長 (有効回答数 34 人)

	全体(人)		全体(%)
①	13	①	38.2
②	8	②	23.5
③	8	③	23.5
④	5	④	14.7

質問③ 質問②で回答された理由は何ですか。(自由記述)

(1) 高校1年生

①と②に関して

・いきたいところいける・平等に！・区外の人もいきたいところへいけるから・平等な感じがするから・広くなったので良かったと思う・遠くの人も多く受けられるようになるから・自分の住んでいる場所で学校が決めつけられるのは嫌だから・学区外の人には受かる確率が高くなったから・差別はよくない・区外から受かるのが増えたから・いろいろ楽しいから・自分が行きたい所に自由に行けるようになったから・平等に近くなったから・区外の人が入学しやすくなるから・高知県民だから・同じ高知県民だから・学区外からの人も受け入れていいと思う・全部なくせばいい・区外から入りやすくなったから良い・たくさんの人と話せるから・生徒は多い方がいい・学区という地域優遇はやめた方がいい・そういう制度があってはいけないと思う・区外の人にもチャンスができる・多くの人が入りたいところへいけるから・良いとは思いますが学区とか要らない・受かる可能性が高くなる・行きたい

学校に行きやすくなる・高知学区の学校も視野に入れることができた・10%から15%に拡大したから・区外の人が行きたい所に行きやすい・区外の人と同じスタートラインに立てるから・合格しやすくなる・区内でも区外でも関係ないから・いろいろな人と仲良くなれるから・高知学区でない人も好きな高校を選びやすいから・進路の幅が広がった・平等だから・分ける必要がない・学区の影響はないほうが良い・学区に関係なく勉強したい人もいる・自宅から遠くへ行かないといけない人が多くなる・興味がない・区外の人が少しよくなったから・いけるところに行けていいと思う・区外の人少しでも入学しやすくなったから・区外の人受けやすくなったと思う・学区外の人をもっと合格できるようにになったから・平等だから・いろいろな人が来るから・全員が受けたいところに受けやすいから・いろんな人と出会えて友達になれる・より多くの人を受けやすくなる・一人でも多くの人が入学できるから・学区外の人多少なりとも入りやすくなる・区外からの生徒が増えるから・来たい人が来られるようになったから・平等になって良い・学区内と学区外とで志望校の選び方が全然違う・行ける学校の選択が広がる・不平等じゃないかとおもう・学区制など必要ない・高知学区以外の人志望校に行ける確率が高くなったから・そこ以外が不公平だから・拡大した方がいいと思ったから・入学しやすくていいから・入りやすくなると思うから・行きたい学校へ行ける可能性が少しでも上がったから・学区が違うからという理由で、不利になりにくくなったから・入学できる人数が増えてよくなったから・行きたい高校への入学率が上がるから・だれでも入れるようにむしろ35%ぐらいにするべき・受かりやすくなった・遠いところからでも来られるようになったから・行きたいところに行けるから・地元の子がいつも優先されるから・学区外の生徒とも交流できるから・行ける高校が増えるから・わけへだてない感じがしてよい・高知学区が受かりにくい・いろんなところから人を入れられるから・なんとなく、人ともいろいろかかわれるから・自分が学区外だったので・県外からも来たい人が多いかもしれないから・行きたい高校に行ける人数が増えたから・市民平等・ふえたから学区外の人今までより入れるから・入りやすくなったから・市外の人でも入学できる範囲が広がったから・区外の人が市内の高校を受けやすくなったので、よいと思う・区外の子も行きたいところに行ける確率が高くなるから・いろんな子が来るから・区外の人少し受かりやすくなったから・自由に入れるから・平等になるから・頭のいい人が入りやすくなったから・区外だったので、定員枠が増えて通りやすくなった・学区外の人も行きたい学校に行きやすくなった・平等だから・区外だから入れないっていうのはおかしいと思うから・学区外の人入学しやすくなったから・学区外の人ともたくさん友達ができる・区外の人でも気軽に受験できる・区外の人も行きたい学校へ行ける確率が高くなったから・区外の人多いほうがいいから・区外からも来やすくなるから・区外の人選択肢が広がったから・区外だから・自分が区外だから・平等であるべき・区外からたくさん人が入れるから・入学できる可能性が高くなったから・来たい人が来れるから・学区外の人入りやすくなったから・学区外の人入りやすいから・区外の人で中学校で頑張った人が行きたい学校に行けるから・学区外の方が学力が高いのでいい人材を多く入れることができるから・平等に試験ができるし、自分の実力が試されるから・学区内と学区外とで入学枠が違うのは不公平だと思う・高知学区の人と区外の人入学枠が違うのは平等ではないと思うから・区外から入りやすくなったから・学区外でも小津高校に行きたいと思ってる人にとっていいことだと思うから・ちょうどいいと思うから・高知学区以外の人入りやすくなったから・もっと入学枠を増やしてもいいと思うから・前期で入れる可能性が高くなった・区外の自分でも市内の学校へ入れる可能性が広がったから・学区で決められると可能性が低くなり不安だから・平等である方がよい・自分が住んでいるのが高知学区外なので、自分が行きたい学校に行くことができ選択肢が広がったから・それぞれで区切るのはあまり好きではないから・学区外から入れる人数がふえたから・学区外からの受験での合格がしやすくなったから・みんな行きたい気持ちは一緒だから、平等にするべきだと思う・学区外から来た生徒が入学しやすくなったから・区外から受験できるし、高校の範囲が広がったから・みんな平等であるべき・遠いところから通っている生徒も、入試に受かった人が増えてきたから・いろいろな区域の人が来るから・拡大したことで合格する可能性が増えるから・自分の行きたい学校に行けるから・普通に来られるからいいと思う・遠くからでも入りたいたいと言う人がいるから・いろいろなところから来てくれるから・ちょっとでも上がれば入学する確率が上がるから・いろんな人と友達になれるから・この学校に行ける人が増える・学区外の人まじめそうだから・友達が増える・入学できる人が増えたから・すこしでも増やしたら

いいと思うから・将来の社会の安全性があるから・合格する確率が上がるから・その人たちが不利にならなくなったから・他の学区から入りやすくなったから・たくさんの地域との交流が増えるから・公平になるから・春野に行きたい人が、もし、家が遠すぎて入学枠を超えてしまったとき困るから・他のところの生徒さんが楽に合格できるように・学区外の人が進路先のはばが広がったから・受ける人は受ける人だから入学枠というのではない方が・学区外でも受けたい人はたくさんいるから・差別・学区制度は必要ない・学区外での幅広い友好関係が深まると思うから・今まで高知学区以外の人を受けやすくなるから・範囲が広げれば来る人も多くなると思ったから・行きたいところにまあ行けるから・遠い人でも通えるから・高知学区以外の人が入りやすくなる・その人達が、受けやすくなるから・今まで入れなかった人が入れるようになるから・区外の人がよく来られるから・学区外からも入学したい人はいるから、少しでも有利になる人がいるのはいいんじゃないかと思う・より多くの人挑戦できるから・合格しやすくなるから・高知に行きたくて行ける人が増えるから・いろんな人が来られるのはいいと思ったから・学区外の生徒も行きやすくなるので、選択肢が増えるから・行きたい学校に行けるから・合格する人数が増えたから・よく分かりませんがいいと思います・前より合格しやすくなるから・誰でも、希望した高校が受験しやすくなったから・学区外の人チャンスの増えるから・友達がいっぱいできるから・いろんな人がうけやすいか・学区外からの入学者が増えるから・違う区域から来た人とも交流ができるから・いろんな人が入学できるから・学区外の人でも行きたいところに行ける割合が多い方がいいと思うから・他の学区でも、自分の行きたい学校に行けるから・ふれあいができるから・選択肢が増えて行ける高校の範囲が広がったから・選択肢が増える・色々な人が集まるようになった・志願した高校に学区外でも通いたいと思うから・行きたい高校に行ける確率が上がるから・自分がいるところが高知学区以外で選択肢が増える・好きな学校へ行けるから・区域外の学校へも挑戦できるから・入学枠を増やした方がいいから・色々な人と関われるから・区外の人入学枠が増えるから・学区をもうける必要がないと思う・合格できる子が増えるから・自分が受かりやすくなったから・いろんな所から集めた方がいいと思うから・みんな平等になるから。(市外の人がかわいそう)・住んでいる場所で区別するのはおかしい・入学枠が増えたから・入学できやすくなるから・区外からもこの学校に来たい人がたくさんいると思うから増えた方がよいと思った・たくさん人が来るから・確率は高い方がいいにこしたことはないから・いろいろなところから入れるように・15%じゃなくて100%にしてほしい・いっぱい入れるようになったから・より合格する可能性が増えたから・以前に比べたら増えたのでいいと思う・選択肢が広がるから・行きたい高校にみんな行かしてやりたいから・自由に学校が選べるから・選べる学校が増えたから・合格する確率が上がるから・本当に行きたい場所に合格する確率が上がったから・入試で入りたい高校に通やすいなど・色々な人に会えるから・行きたい高校に、地域関係なく平等にした方が将来につながるから・学区外でも入学したい人がいると思うから・人が増え、色々な人と関わるようになるから・なるべく公平にチャンスがあればいいと思った・枠を少なく制限されていると学区外からの人が来にくいかもしれないから・本当にやる気のある人が集まるから・撤廃するなら前期の入学枠を100%にしてほしい・学区制によって高校の受験を変えたりする人がいるかもしれないからよかった・学区外の生徒が入学しやすくなったから・友人の輪が広がるから、いろいろな地域の人と切磋琢磨できる・平等に受験できるし、全体の学力が上がるから・学区外でも入学しやすくなったから・高知学区とそれ以外で枠を決めるのは不公平、不平等・学区外の人もたくさんの進路を選べるようになったから・住んでいる地域で高校が決まるということが少なくなる・良い人材は遠くからでも入れるべきである・力のある人が集まる・撤廃すべきだと思うから・高知市内の子にも競争心が生まれたから・区内と区外の差が緩和された・自分が学区外だったから・志望校選択の幅が広がったから・なぜ学区があるかわからなかったから・完全撤廃を早くしてほしい・自分の行きたい学校に行ける枠が広がる・高知学区との差がなくなる・いろいろなところから生徒が集まる・学区外の人にとっては志望していた学校に受かりやすい・学区外の生徒も合格しやすくなり・行きたい生徒が増えるから・色々な所から行けるから・学区外からでも入学がしやすくなったから・いろんな学校の友達がくるからです・入学する人が増える・いろんな所から来るから・希望したところに行ける可能性が増えるから・小さい学校よりいい・地域で分けるのは軽い差別だと思うから・学区制度自体撤廃した方が良かったから・高校に入る人が多くなるから・幅広い友達ができる・学区外以外の人合格可能性が高くなっているか

ら・学区外の人でも受検しやすくなる・行ける範囲が広がって良かったと思う・合格できる可能性が高くなるから・受かる可能性が高いから・希望する高校に入りやすくなったから・学区によって入るのが難しいというのは不公平だから・平等になる地域関係で落ちる確率が少なくなるから・段階的に廃止するのではなくすぐに全県一区にしてほしかった・区外区内の差がなくなるから・市内の高校に行きやすくなった・学区制は必要ない

③と④に関して

・なんとなく・自分のことだけ考えると合格が難しくなるから・よくわからない・拡大すると高知学区以外が困る・1つの高校に集中して合格率が下がるため・やるなら100%にしたら良い・学区内の人不利になるから・入学率が減る・自分が入るときに入れなかったら困るから・学区内の人不利になる・市内が大変になるから・今年でいきなりかえられるのは嫌だった・市内の人が市外に行くと、市外の人が市内の学校に通うのは効率が悪い・合格率が下がるから高知市内の人が入りにくくなった・合格しにくくなるから・高知学区から多く来てほしいから・だって市内の人間はあせったもの・高知市に住んでいる人が高知市の学校に行けなくなるのはおかしいと思うから・通学するのが大変な生徒ができるから・区内が少なくなった・区外から入る人が多くなるから・区内で合格できる人数が少なくなったため・入試に不安になる・学区内の人が入りづらくなるため・学区内の人を受かる確率が下がる・学区内の人を受かる可能性が少なくなるから・競争率が高くなるから・通学が大変になる生徒も増えると思うから・人数も少ないし、5%くらいならいいと思う・良くないから・自分が高知住みだから・区内が入りにくい・こっちが不利になる・遅刻が多くなる可能性がある・高知学区の人たちが受かりにくくなるから・難しくなるから・通学中に何がおきるかわからない・受験する人が多く、合格が難しくなるから・人数が増えて倍率が高くなるから・入学率を拡大するのではなく、学区を全部撤廃すべき・僕は高知市に住んでいるから・その中学校の近くの人が入りにくく、わざわざ遠くから理由もなく来る人がいるから・地元の人たちをもっと入れてほしい・よいとは思いますが、その分枠が少なくなった・県のトップレベルの人たちには全く関係がない・学区内の生徒にとっては合格できる可能性が下がったから・受かりにくくなる・市内の学校の子が不利になる・いなかもんは、いなかもんの学校に行ったらいいと思う

(2) 保護者

①と②に関して

・学区外の子にも門戸を開くため・学区外というだけで受検できないのはおかしいと思うから・学区制を撤廃すればよいと思うから・学区に関係なく自分の希望する学校を選ぶことができる・学区外に関係なく希望する学校を受検させてあげたいから・学区内の子どもは厳しくなるが、区外の学生のことを思うとよいと思う・住んでいる場所が理由で希望する学校に行けない今の学区制は廃止すべきだと思います。県内の生徒が同じ条件で行きたい学校を選べる状態にすべきです。ただ、郡部にある学校は生徒数が減り、さびれていくのではないかという問題もあると思いますので、郡部の学校は生徒を集める改革が必要だと思います・自由に出願できる・高知学区外に関わらず同じ条件で受検できるから・目指す学校にできるだけ平等に入学できるようになればよいと思います。学区外の子どもがより希望する学校を選べる機会が増えるのでよいと思います・学区外にも進学したい学校はあると思うので選択を広げてあげる事はよいと思う・区内外に関係なく自由に学校を選べることに近づいたから・区外の生徒でも希望する学校に入れる確率が上がるため・希望高校に合格できる確率がUPした感がある・学区内と学区外が平等になる・公平、公正である・子どもの進路の自由が広がる・枠が広がることで入りやすくなるから・希望者があれば区域外でも幅広くとってほしいと思う・入りたい学校が広がったから・学区以外の人にチャンスが広がるから(平等感)・高知学区を希望する子どもが多いようなのでチャンスが広がったと思う・高知学区の生徒には厳しいとは思いますが、学力のある生徒にたくさん入っていただきたい。区域は関係なく実力のある子どもを入れたらよい・みんなが行きたい所を受検できたほうが良い・いろんなお友達ができるから・子どもの行きたい志望校に行ける・区外はなくなるといいから・少しでも市内の学校に行きたい生徒が行けるから・住所によって入学率が違うのは平等でないから・学区内の子にとっては厳しくなるが、学区外の子にとっては学ぶ自

由もあるので互いに良い・学区内の入学枠が不安です・平等にしてもらいたい・区外の人から見れば不平等だったのでは・選択肢が増える・子どもが行きたいと思う学校はほとんどが市内校で、区外というだけでやる気をなくす・郡部の子も市内の学校に入学したいという希望が叶えやすくなった・市内の学校に行きやすくなった。反面郡部校が減少するのは良いとは言えない。・学習意欲に区域は関係ない・行きたいと思う学校が本人の責任ではなく、「地区」という枠で制限されるのは子どもにとって納得しづらいと思うから・学区制をなくせば良い・学区内学区外と分けず、子どもの希望する学校に行けるようにしてほしい・居住区域で行ける学校を制限されるのはできる限りゆるやかであるべき・学区外からでも行きたい学校へ行けるのは受験生にとっても張り合い、やりがいがあり学力向上の一つの目標へも通じることだから・区外の人もいろいろ選択できて良い・区内の子にとっては不利でも、区外の生徒も行きたい高校が受験しやすくなるから・より子どもの意志に沿った志望校選択につながるから・高知学区が保護されているから・区外の子どもたちにも権利はある・平等にすべきだと思うから・学区外から受けに来ることによって、勉強の意欲が出てきてよいと思う・学区外制度をなくしてほしいと思うから・学区外の生徒の選択肢が広がるから・子ども本人が行きたい高校に行けることは子どもにとって良いと思う・希望校への入学枠が拡大したことで入学しやすくなるから・希望する学校に入学しやすくなるから・行きたい学校に入学できる確率が高くなったから・公平で良い・ニーズに合った学校に入学し、教育レベルアップには、良いではないでしょうか・学区外の子どもが入学しやすいため・地域に限定されない考え方などを知ることができると思うから・受かる可能性が減るから・一人でも多く高知市内の学校へ行けることを望んでいる・校区外の子どもにも市内の学校に通わせたい・高知県全体でみたらいい・学区外の方も好きな学校に入学できる確率が広がり、高知学区の方も受験ということにより意識をもつようになると思う・本人の希望する所へ入学できる可能性が高くなったから・学区外だったから・行きたいところへ行かせてほしい・本来学区による枠ではなく、学力に応じた試験であるべきでは？学区外からの入学枠は必要ですか？・広い視野で選べ、平等だと思うから・行きたい高校への合格の可能性が大になるので・学区外でも行きたい学校に行けるから。・区外、区内関係なく自分が行きたいと思う学校選びができ、受験することができたらよい・区外の子どもが選択できる余地ができるから・学生の人数は多い方がいい・もっと拡大してほしい・自由に学校を選べることはよい・生徒数が少なくなってきたので良いと思う・住んでいる地域が区外だから・選択の幅が広がったから・学区がなくなればよい・区内より区外からの受験がむずかしいため・高知市に学校が集中しており、さまざまな希望を抱いた中学生が郡部に住んでいるという理由で学ぶ機会を失うのは不公平である・学校を自由に選べるから・通える人が増えたから・希望する学校に進学しやすくなるから・学校の選択肢が増えていい・市内普通科への進学枠（確率）が増えて良かった・市内の生徒に競争相手が増えていいと思う・学区制には不平等感を感じる（平等になっていい）・15%でも少なすぎる・郡部の成績のいい子が入学しやすくなるから・学区制は必要ない・大学へ行くための進学校を選んだと思うから・希望した学校へ入りやすくなるから・行きたい学校に行けるから・その他の地域の人にも少しでもチャンスが増えるのはよいと思う・学区撤廃もっと早くすべきである・高知学区の者にとっては厳しくなるのでイヤだなと思いますが、高知県全体の子供のことを考えると学区外の枠を拡大すべきだと思います・子供達が進学したい学校に受験しやすくなったから・高知学区でも高知学区でなくても、同じ受験生だから・学区外の希望者の門戸が広がった・居住地によって競争が厳しくなることは不公平だと思う・自分の特技などを生かせる学校に多くの人に進学してほしいから・やる気がある子にチャンスが増えるから・行きたい高校に行きやすくなった・全廃すべき・優秀な学生に門戸を開く意味で良いと思う・学区にとらわれず行きたい学校を選べると良いと思うから・希望すればだれでもチャレンジできないといけないと思うから・志望理由は全員同じなので、少しでも平等になると思います・子供たちの友好（交友？）範囲が広がり、将来的にも良いのではないかと・県全体から生徒たちが集まるということは子供たちの学校生活においてもプラスになるのではないのでしょうか・区外に住んでいる理由から入学が制限されるのは納得がいかないから・枠をなくして実力で決めればよいと思う・区外からの入学枠を拡大することで、高校を選ぶ枠が増えるから・学力に応じて生徒が平等に志願する学校に行けるようになるので、全廃に賛成です・学区外の生徒も希望する高校に入りやすくなったから・枠など決めずにいい子はどんどん入学すればよい・教育に地域制限は不要だと思うから・もっと増やしても良いのではないですか・学区を取り払い公平

にした方がいいと思う・学区制って必要なのでしょうか・そもそも学区制に疑問を感じているため・高知学区外の地方の生徒の選択肢が多くなる・市町村によっては、希望したい学校が少ない・どこに住んでいても自分の行きたい学校に入学できるチャンスが広がった・平等になった・県立高校である以上、県内は同じ条件であるべき・学区の意味は？必要ないのでは・入学枠拡大で学区外から志望校を希望したい子供に選択幅が広まったからよい・志望校が高知学区に集中する傾向にあるので、枠を20%までの程度でよいと思われるからよい・学区以外の子供が少しでも多く入れることは良いと思う。でも、すべての学区を撤廃するのは、どうかと思う・少しでも志望校に入れるのでよい・子供が自由に学校を選択できる・もっと拡大が必要・学区外の人にも行きたい学校が増えるから・少しでも大勢の生徒さん達が希望した高校に受検できると思うので良いと思います・学区外の人にも平等にいろんな所の学校を受験させてあげたら良いと思うので・行きたい学校を目標にできるので・学区外からも進学選択できるから・学区外から行けるのもいいと思うから・学区外の子供が少しでも高知学区に入りやすくなると、勉強への意欲とか、変わってくると思う・自分の為になるところに行けるから・郡部の子どもたちにとって、行きたい学校が増える・行きたい学校が学区により制限されるのは好ましくない・学区外の人を受検しやすくなるのでよいと思いますが、学区内の子供の競争率が高くなるのも少し不安があります・学力に見合った学校を選んで受験するのが大事だと思う・区外の生徒でも希望の高校への入学の幅が広がるのでは・通学区域で枠があるのは平等でないと思う・学区外からでも入りたい高校を選べる様になったから・自分が学区外であれば入学枠が少しでも多い方がいいと思ったから・区外からでも合格できる可能性が少しでも多くなり、選べる高校が増えたから・この先の進む進路が広がるから・学校は好きなところへ行かせたい・区外からの受検が不利になるから・自ら希望する学校への入学ができる・子どもたちは、自分の目指す学校を自分で選択します。学区を撤廃した事、そして、高知学区を拡大したことにより、目標とする学校への合格の可能性が広がり、希望も持てるから・もっと拡大してほしい・区外の子どもたちが平等な学力で見てももらえる。区外からの枠にとらわれずに入試に向かって挑戦する意欲がでる・学区外からでも魅力ある学校であってもらえるために、よいと思う・志望校の枠が広がる事はよいと思います。私立との差を小さくするため、進学校は、まだ枠を広げてもよいのではないのでしょうか・学区外からでも合格できる望みが増すから・それぞれの求めるより良い学習環境を求めチャレンジしていける門戸が広がる事はよいと思います・学区外からも行けるのが増えたから・行きたい学校への可能性が高くなるから・志望する学校へ入学する事が将来への選択肢が広がると思うから。しかし、これ以上の拡大は、学区内の入学枠が厳しくなると考えられる・同じ県内で、学区で分けなくてもよいと思う・学力があればどの高校にでも入学できる方がいいと思います・子どもたちの選択の幅が広がってよいと思います・前期選抜で不合格でしたが、挑戦する事が出来て良かったと思っています。子どもにとっても決して無駄な事ではなかったと信じています。拡大は賛成です・住んでいる市町村にない学科に挑戦しやすくなるから・高校の選択校が広がり自分の行きたい高校を選べる・志望校が学区外ならば、やはり受験させてやりたいからです・選択の幅が広がるから・高知学区の枠を広くした方がよい・志望校の幅が増えて良い・学区内、学区外の枠は廃止した方がよい・競争心が出てくると思う。生徒個々がもっと努力するようになると思う・自分の行きたい高校に区外からも行きやすくなったのではないか・15%でも少ないと思う。撤廃を望む・学区外の生徒が自由に学校を選べない・行きたい学校を選べる・自分の行きたいところに通ったらいいと思うから・学区での差がなくなる・受験生の平等・本当に行きたい高校に希望する生徒が平等に受験できる前提が必要・愛媛県など学力の高い県では早くから学区の撤廃を実施しているらしいので高知もそのように早くすれば学力向上になるのではないか・県立高校であるので広く門戸を開くべき・子供の数も減ってきたので、以前より倍率も低くなっているため・広くいい子が集まるからよいと思う・選択する範囲が広がり子供の可能性が拡大する・選択肢が増え、志望校を選べる・もっと拡大すべきだと思います・入学枠(学区外)を広げてほしい・学力があるのに一という思いが残ると嫌だから・平等性・希望する学校に入れる可能性が広がるから・通学区域によって本来の学力や、本人の希望が重視されにくい状況が改善されたから・学区外からも行きたい、目標とする高校に入学しやすい・地区外では難しく、その地区にいると有利です・目的のある子どもには拡大されて良かったと思う・希望する学校に学区外から2つも受験しても希望がもてる・高校では学区に関係なく、学校を選ぶべき・広がったのはよい・希望する学校に進学できる確率が高

なくなったから・区外という理由で制限があるのは不公平である・受験校の選択肢が増えた・学区にとらわれず、魅力のある学校を受験することはよいこと・学校の選択肢が増える・市内の生徒に競争相手が増えていいと思う・市内普通科への進学率（確率）が増えて良かった・学区制には不平等感を感じる（平等になっていい）・学区制は必要ない・市内普通科への進学率（確率）が増えて良かった・力のある子は行きたいところに行ける可能性が広がるから・学区にとらわれず、魅力のある学校を受験することはよいこと・学区外の子どもが高知学区へ入学でき交流が広がる・学区制をなくして、学力重視で行く方がよい・学区制には不平等感を感じる（平等になっていい）・行きたい学校に行けるようになる・希望する高校に行けるので・学区外からも希望の学校へ行きやすくなるから・子どもたちの可能性が広がるから・志望校に入りやすくなるから・学区外で入校したい人が多ければ色々な考え方がありいいと思う・広い地域の生徒がいた方がよい・自分の進みたい学校を選択できる・学びたいものにとって、いろいろな学校を選べるチャンスが増えるので、学区外に住んでいる方にはいいのではないのでしょうか・自由に学校を選ぶ事が出来る・選択肢の拡大・学区による不公平が少なくなるから・学校の数も増えるといろんな学校を選べていいと思う・区外の人にも区内以外の高校に行けると思うから・郡部とか関係なく平等に扱ってほしいから・自分の子どもが高知学区でないので枠が広がった事はよい事だと思う・行きたい学校へ入りやすくなる・区外から入学を希望している場合、入学の機会を増やしてほしい。もう少し拡大してもいいと思う・本当は学区制をなくしてほしい。学区で優遇されるのはおかしい。競争してこそ高知の学力が上がるのではないのでしょうか・希望する高校を受験できた・将来的には全敗して、県内同じ土俵で望めるようになれば

③と④に関して

・競争率が高くなった・高知市に集中し、他地域との学校格差が広がるから・子どもが住んでいる市町村の学校に行かせたほうがよいと思います・高知学区の生徒が逆に学区外へ進学せざるをえない状況が生まれた・学区の意味がないのでは・全枠撤廃を希望しています・学区内の定員が減るため・区内の生徒が希望の高校に入りにくくなるから・市内に受験者が集中することが考えられ、不安感からレベルを下げた高校を受験した・市内の子どもが行きたい高校にいける確率が低くなり、遠方の高校に行かなければならない可能性がある・近くの学校を選んで入りにくくなるから・学区外から来られると、区内の者が行ける所が限られるかも・どこに住んでいても平等であることはいいことだと思うのですが、これ以上拡大しないでほしいと思います。もしも自身の子どもが学区外の学校に通学となると経済的に難しいので現状のままだいいと思います・生徒が自分の希望の学校に行きやすくなるのはいいと思うが、これ以上の拡大は反対・高知学区以外の高校がより定員減になるから・高知学区以外の郡部の子どもの選択肢が多い方がよいが、地元の高校がますます廃れていく生徒数の減少があるため・高知学区のため合格率が厳しくなる・地域外の学校へ進む希望者の経済的負担になると思う・郡部高校の生徒が減ったのではないかと・枠をなくす必要はないと思うが1割では厳しいと思うし、チャンスあげたい。又は完全に学区を設定すればよい・できるだけ通学区域の学校へ入学してそれぞれの学校の特質を作り出すためにも子ども的人数が偏らない方がよい。また魅力的な学校作りをしてほしい。・田舎の学校がなくなる・高知学区以外の高校がさびれてしまう・市内の生徒が遠方への通学をするケースが生じたので・交通費がかからない近くに行けた方がよい・高知学区の生徒が区外の学校に行かなくてはならないこともあると思うので・入学枠が広がっても、経済的理由により高知市の学校に行かせることは不可能・子供の選択肢が広がったことは良いが、全体的に生徒が高知学区に集中して、地方の高校の生徒数が少なくなる・高知市内の子供が高知市内の高校に行きにくくなる・市内に入学生が多くあつまりすぎる・市内の子どもでも郡部しかいけなくなると交通費とかの負担が重くのしかかるので、今までどおりの方がよい・高知学区内の子どもが、学区外に通わなければいけなくなる様なことが無ければよいと思う・高知学区に住みながら、合格できなければ郡部へ通うのは、子どもにとってもしんどいと思うから・高知学区の定員枠が5%ふえた？のですか。勉強不足で申しわけありません。必要はないと思う・学区内の人気校に受かりにくくなることと、郡部の学校的人数が少なくなり、定員割れすることが起こりやすくなる・学区内の子供たちが学区内に通える枠が減り通学が大変。下宿などの金銭的負担が増える・地域の学校がすたれてしまう。高知学区まで通うことはできない子供が困る・学区外の学校が定員割れになったり、高知学区を受験する生徒が再募集でも

合格できない生徒が増える・地元（市内）の学校へ入りたくても、入れなくなる・市内の生徒が、郡部校へ行くことになる・区内の学校に行けなくなる可能性が高くなる（受け皿をかまえてほしい）・高知市集中傾向が強まる・遠くの学校の人と知り合えるから・市内の生徒が市外へ通学するのは負担になる（時間、金銭）

（3）中学校長

①と②に関して

・希望する高等学校に受検生全員が同じ条件で受検できるようにと願っている。（学区撤廃に賛成である。）・高校入試に関しては、できるだけ規制はしない方が望ましいと考えるから・学区制もわかるが、公平に進路選択できる方がよいのでは・学区撤廃に賛成であるから、拡大もよいと思う・学区外の子どものチャンスが狭かった・もっと拡大してほしい・進路選択の幅の広がり・郡部の生徒については、選択肢が広がった・学びたい高校で学ぶことができるため・もう枠そのものが不要と思われるから・学区外入学枠の拡大により、生徒の受検校の幅が増えると考えられるため・交通事情もよくなり、郡部の学校にとっては、生徒の選択肢が増えるから・全廃に向けて高知学区の入学枠を拡大することは、生徒や保護者の意識変化につながる・不公平感の解消につながるから・学校選択の枠が増え、区外が行きやすくなったから・学区外の生徒にとっては、志願先高校の選択肢が広がるし、学習意欲の向上になる・郡部にとって、入学機会が高まるから・学区の撤廃に向けて配慮があると思います・学区により、受検生の受検に有利、不利の条件を設けることは望ましくないから・生徒の希望にそえるから・進学したい高校を受検する割合が増えることは良いと思う・将来的に学区は全廃した方がよいと思うから・高知県内の生徒を高知県内で育てると考えれば、学区制は撤廃すべきです・隣接している高知学区外にある本校生徒にとって、過去にもずいぶん進路選択の幅を狭めるものであったため。枠拡大により、生徒の学習意欲も向上している・高知市から他市へ出て、区外定員増による良さを実感した・全廃についてはどうかと思うが、25%までならよいと思う・希望校に対して、平等に機会が保障されるようになったから・子どもたちの選択肢が増えたことは望ましいが、更に学校間格差を生みださないALL高知としての高校の在り方と方向性を校長会レベルでしっかりと見直していただきたい・高知学区外の生徒にとって、志望校を選択するのに広がりができるから・学区制は必要ない・高知学区外から高知学区内への普通科を受検する場合、枠が狭すぎるため、合格に必要な点数が高くなる。（学区内に比べて）・学区外から希望高校に入学するために頑張っている生徒が少しでも多く入学できるようになったから・高等学校が市内（中心部）に集中する中で、郡部の生徒の希望する学校への入学枠の拡大は、生徒の学習意欲の向上や本県の学力向上のためにも良いことであると思う・高知学区だけの優遇が改善されたので・高知学区以外の生徒にチャンスが広がって良いと思います・住所により、志望校に制限を設けることはおかしいと思う。できるだけ制限はない方がよいと考える・学区に内外を問わず、積極的に進路選択ができる。また、選択の幅が増える・希望する生徒をできるだけ全県で・通学区域を撤廃すること、各学校が生徒、保護者の希望にこたえられるような教育活動のレベルをアップすることが同時に行われることが大切・志願者の志願校の選択枠の拡大につながるから。ただ、高知市内に在籍する生徒が厳しい状況におかれぬよう配慮も必要では・学区外生徒の志願枠の増加。学区内生徒への影響がそれほどでもなかった・県内の中学生が公正に希望進路校を受検する機会が広がった・個々の進路目標実現の機会が増えるという効果はあるが、郡部校の定数維持に不安を感じる・高知学区の枠はいずれ撤廃となる計画であり、その過程であるので、5%の拡大にはそれほど意味は見いだせない。学区制がなくなれば、郡部の生徒にとっては受検に有利となりそうだが、郡部の学校の統廃合につながるのではないかと懸念もしている。経済力にかかわらず教育を受けることができる条件整備は県教委としては是非行っていただきたい・（本校の生徒にとっては）通学可能距離でありながら、進学が困難であった高校への進学の（枠の拡大により）可能性が増えたため・高校選択の幅が広がるから・より多くの生徒のニーズに応えられると思うから・高等学校側にとっては、より目的意識の高い生徒を集めることができ、周辺部の高校にとっては、より特色のある取り組みを進めるきっかけにつながる可能性がある・学区をなくす方が全体としてみると進路選択の自由が保障される・学区内の生徒には厳しくなったが、学区外の生徒には平等性が増した。学習への取り

組みが向上した・郡部の学校だから・一定の枠はあった方が良くと思う・進路の幅が広がる・拡大することによって進学先（希望校）の高校を少しでも多くの生徒が選択できる・郡部からは入学の定員が増えたことが良かった・郡部から挑戦しやすくなった・高知市内の普通科が受験しやすい・時代の流れ・入学枠はもう少し拡大してほしいところだが、高知市のことを考えると納得せざるをえない・そもそも区外、区内という制度があったのがおかしいのではないかと思う・地域により、回答に差は出てくると思うが、本来自由であるべきだとの考えを持っているため・選択肢が増えることは生徒にとって良いと思う。ただ、生徒数の減少によって、将来高校の数が大幅に減ってしまうのであれば考えると複雑である・自分が志望する学校枠が広がると、合格率が高くなるから良いとは思いますが・・・生徒数減となる地元の高校の心配もある。

③と④に関して

・（高知学区外）地元の高校への進学率が減少する傾向になる・80%枠を超える高校が特定されていること、志願先変更ができることなど人気のある学校への優遇が目につく。（中心地から遠い高校が更に低位におかれる危険性がある。）・高知市内校に集中しすぎる・郡部の高校の生徒数の減少や活気がなくなっていくのではと心配する・生徒数の多い高知市内から高知市外の高校へ進学しなければならない生徒が生ずる・高知市の端にある中学では近くの高校のレベルが上がり、市外の高校へ通わねばならない生徒が増えた・危機感から高校入試に向けた学習の意欲のわく生徒もいるが、合格できなかった生徒の高校（後期・再等）入学後の学習意欲や遠距離の高校に通う生徒の経済的負担が重い・全県的な定員配分とのバランスが悪く高知市内は飽和状態にあると思うから・高知学区の生徒が厳しい状況に追い込まれる・生徒にとっては良いかもしれないが、地域の高校がさびれ、存続が厳しくなる。ある程度の枠は残しておくべきと考える。（チャレンジする生徒）地域によって良い面もあるが、逆に地元の学校、地域の学校による特色ある教育の実施や様々な地域との交流、保護者の学校への協力等できにくい面があるのでは・高知市の事情を考えた場合、入学枠をこれ以上拡大する必要はないと考える市内校は。少ないこともあり、高校の選択については、幅が広がるという利点もあるが、今でいう区外からの希望者が増加した場合、遠距離通学などをしいられて経済的負担が拡大することなどが考えられる。また、高校の格差についても心配されるなど・高知市内の中学生の負担が大きくなる・地元の高校を地元が大切にしてほしいから・郡部の者にとっては良いが。市内から郡部へ通う者にとっては、通学費等困る部分が出てくる・高知学区の入学枠が拡大することにより、中高一貫教育の取り組みに対する意識が薄れるため・地元と同じ科があるのだから、学区外からの入学枠を拡大する必要はない（高知市の生徒も地元へ）・高知市の中学生にとっては重大な問題です。高知県の全受検生の1/4~1/3を占めている高知市の中学生にとって他学区からの受検生が増加することは、たいへんな問題です。区外の中学生はできれば地元の高校に進学していただきたい・どの県も県都に生徒が集まる傾向にある。高校進学は家の近くの学校を選択することが経済的にも学習、生活、生徒？面からも望ましいので・地元の高校を支える地域、行政の雰囲気があるこそ地元高校へ進学し、地域の活性化につながると考えるため・高知市内校に集中しやすくなるので（郡部校は衰退につながる可能性大）・学区撤廃するなら全県下で行うべきである。学力テストで高知市内の学力が低いことは明らかであり、それが高知県全体を低下させていることも明らかである。勉強しないと高校へはいけないという雰囲気を作るためにも、高知学区の入学枠もなくすべきである・全県での撤廃をすべきと思う

(4) 高等学校長

①と②に関して

・全県一区が良いと思う・10%は少なすぎるから・受検機会の公平化・学区外の学力のある生徒にとって選択肢が広がった・行きたい学校へ入れる機会が増える・経済的な問題は生じるだろうが、行きたい高校を選択し、学業面で努力するメリットは大きい・本校の生徒募集に関しては、不利な条件となるが、それを逆手にとって、地域の中学生から見て魅力ある高校にしなければいけないと考えるから・時代の流れである・入学したい高校に皆が同条件で挑戦できるため・受検の機会均等の面と生徒数確保等における各校の自助努力の必要性から・しかし、ゆくゆくは全面撤廃には疑問が残る。高知市内の学校はいつも生徒が満たされ安定するが、郡部の学校は裸にされる。あるいは

高知市内に行けない生徒だけが残る学校となる・一人ひとりの受検生の選択の幅を広げる意味から
 いて・・・・10～15%に拡大してもあまり現状と変わらないのではないか・学区制の撤廃は
 時代の流れや「行きたい学校」選を勘案すれば仕方ないところである。周辺校・郡部校へのひず
 みは当然起こると思うので、そうした学校ほど振興方策への支援をお願いしたい

③と④に関して

・ 昨年の入試状況を考えるとあまり影響はないように思われる。しかし、生徒数減の中、郡部校と
 しては高知市内に抜ける生徒が大変気にかかる・前期選抜で本校を希望する地元の中学生在が減少し
 つつある・周辺の高校への影響が大なり・地元中学校卒業生が高知市に流出することを助長した・
 何を以って15%とするのか意味不明。学区撤廃との考え方に立てば、高知学区も撤廃すべきで
 ある。学区という規則は自由主義の社会と相反する・高知市内への学力の高い生徒が集中すること
 が公立高校の将来像として果たしてベストであるとは思わない。各地域にも優秀な生徒が学べるこ
 とも大切・高知市内中学校の生徒が高知市内校に入りにくくなる・ますます、高知市集中が強まる。
 中央志向がますます強まる・郡部校軽視・今後ますます市内の一部の高校への集中が顕著になるか
 ら・生徒数が減少している中で高知学区の定員があまり減少せず学区が撤廃されるということは、
 必然的に区外から区内へ入りやすくなり、ますます区外の生徒数減に拍車がかかる。(高知学区の学
 力アップにはよいかもしれない)・高知市周辺校への入学希望者が減少し、経営が苦しくなるから・
 四万十町は、従前から四万十町外の高校、特に、高知市内を受検する生徒が50%以上となっており、
 この傾向がさらに助長されることが懸念されるため。また、高知市内の中学生在が所謂「都落ち」
 するケースも増加するのではないか。

V 志願理由書について

1 高校1年生及び保護者への質問

質問 前期選抜、後期選抜、再募集のそれぞれで志願理由書を書くことについて、どのように思いま
 すか。

- ① よいと思う ② どちらかといえばよいと思う ③ どちらかといえばよくないと思う ④ よくないと思う

(1) 高校1年生 (有効回答数 1889 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	835	166	131	239	150	149
②	563	92	97	175	99	100
③	293	45	47	103	55	43
④	198	35	40	62	30	31

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	44.2	49.1	41.6	41.3	44.9	46.1
②	29.8	27.2	30.8	30.2	29.6	31.0
③	15.5	13.3	14.9	17.8	16.5	13.3
④	10.5	10.4	12.7	10.7	9.0	9.6

(2) 保護者 (有効回答数 1420 人)

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	833	157	129	232	146	169
②	427	95	69	116	66	81
③	114	12	25	44	15	18
④	46	5	8	15	11	7

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	58.7	58.4	55.8	57.0	61.3	61.5
②	30.1	35.3	29.9	28.5	27.7	29.5
③	8.0	4.5	10.8	10.8	6.3	6.5
④	3.2	1.9	3.5	3.7	4.6	2.5

2 高校1年生及び保護者の肯定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 面接の準備ができたから
- ② 自分が書いたことが質問されたので、落ち着いて受け答えできたから
- ③ 志願先高校が変わっても、受験の心構えができたから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	633	130	98	180	118	107
②	584	101	106	162	101	114
③	150	24	24	55	27	20
④	30	2	5	14	2	7

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	45.3	50.6	42.1	43.8	47.6	43.1
②	41.8	39.3	45.5	39.4	40.7	46.0
③	10.7	9.3	10.3	13.4	10.9	8.1
④	2.1	0.8	2.1	3.4	0.8	2.8

その他

- ・ 気持ちを知ってもらえるから。
- ・ 前期で落ちたことによって、ますます貴校でがんばりたく・・・などとうめれるから。
- ・ 学校の志願理由をしっかり考えることができたから。
- ・ その学校のことをより詳しく調べる機会が増えた。
- ・ 文章を書く練習にもなる。
- ・ 自分の思いを伝えるのに必要なものだと思うから。学力や成績だけでなく人間性も見てもらえるから。
- ・ アピールできるから。
- ・ これから先、志願理由を書くためにやくにたつ。
- ・ 本人の意思確認のため。
- ・ もし気持ちの変化があっても大丈夫だから。
- ・ 自分の考えが先生にわかってもらえるから。
- ・ 前期でも後期でも自分の決意が書けるから。

(2) 保護者

- ① 各学校で実施される面接の準備ができたから
- ② 子どもが書いたことが質問されたので、落ち着いて受け答えできたから
- ③ 試験のたびに志願先高校が変わることもあるので、その志願理由を考えることは有効であるから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	544	125	90	145	86	98
②	331	65	50	100	56	60
③	324	50	48	91	59	76
④	58	10	12	18	10	8

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	43.3	50.0	45.0	41.0	40.8	40.5
②	26.3	26.0	25.0	28.2	26.5	24.8
③	25.8	20.0	24.0	25.7	28.0	31.4
④	4.6	4.0	6.0	5.1	4.7	3.3

その他

- ・ 学力だけではなく、本人のことが分かってもらえると思うから。
- ・ 自分の意見をきちんと言えるいい勉強になる。
- ・ 面接の準備、心構えが本人にとってもできるのでよいと思うが、先生や本人にとっても結構負担になっているのではと感じた。
- ・ 志願理由書を書くことで、自分を見つめ直すことができるし、どうして志願したか明確になるから。
- ・ 志願理由を考えることによって高等学校で学ぶということを再認識するという効果が期待できる。
- ・ 受験するという意識も高まるし、相手（面接する人・学校）にもよく伝えることができるから。
- ・ 普段意識していることを言語化するよい機会である。 ・ 生徒自身が自分の目的を確認できるから。
- ・ 本人の意思確認ができる。 ・ 文章にすることが大切。
- ・ 当たり前。就職する場合でも理由は当然いる。自分自身で考えるから。
- ・ 自分の行きたい学校について自分で書くことにより、どうしたいのか将来何をしたいのか明確になるから。
- ・ 将来の目的を自分の中で見つめることができるから。
- ・ 自分のアピールの仕方等を学ぶために、よい機会であると思う。
- ・ 自分の考えを自分の言葉で書ける絶好のチャンスだから。
- ・ 自分の進路を決定するにあたり、自分の方向性や将来を考えるきっかけになると思うから。
- ・ 本人が通う学校について知っておくべき。 ・ 書面にして準備するのは必要だと思う。
- ・ 将来の職業を見据えた志願高校への自覚ができると思うから。
- ・ 子どもが自分の事について考えたり気づいたりするよい機会となった。
- ・ 入試をきっかけに自分の将来を考える事ができるから。
- ・ 子どもの本当の心の声聞いてもらえるので。
- ・ 志願書を書く事で、自分の志望理由を明確にできる。
- ・ 大学進学や就職するときも聞かれますし、書きます。目的があってその高校を受検しているので当然です。
- ・ 自分がこの学校へ行きたいという思いが確認できるから。
- ・ その学校を志望する理由を生徒が明確にできると思うから。
- ・ 志望理由を記入することは子供自身にとって目標を確認し、よく考える良い機会にはなったが、実際にはあまりにもお決まりの作られた内容（中学校の指導等）になっていたようだ。
- ・ 志願の理由を考える良い機会となるから。
- ・ 本当に自分の希望する学校かどうか考え文章にして伝えることは大切なことであるから。
- ・ 子どもの目標としているものがはっきりと分かる。
- ・ 入学するにあたって自分の考え思いを明確にできるから。

3 高校1年生及び保護者の否定的な回答をした理由について

(1) 高校1年生

- ① 志願理由書を何回も書くことに負担を感じたから
- ② 同じ学校を受験するときにも書かなければならなかったから
- ③ 志願理由書がどのように扱われているのか分からなかったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	239	39	33	85	49	33
②	156	25	28	55	16	32
③	42	5	9	12	12	4
④	49	10	13	15	7	4

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	49.2	49.4	39.8	50.9	58.3	45.2
②	32.1	31.6	33.7	32.9	19.0	43.8
③	8.6	6.3	10.8	7.2	14.3	5.5
④	10.1	12.7	15.7	9.0	8.3	5.5

その他

- ・ 同じ学校を受けるとき、内容を変えないといけないから。
- ・ 前期は賛成だが、後期など再募集の時につらくなるから。
- ・ めんどくさいから。
- ・ あまり行きたくない志願先をほめるのがつらい。
- ・ 志願先が変わるたびに、意見が変わるのはおかしいから。
- ・ 前期は書いた方がいいと思うけど、後期は落ちたから受けるのであって、後期は理由がないからいらぬと思う。
- ・ 行きたい学校は前期にほとんどの人が選ぶから、後期、再募集になったら志願理由はないと思うから。
- ・ 前期でおちて、しょうがなく受けたかもしれないので志願理由に困ると思うから。
- ・ 後期の時は行きたい高校をあきらめて、行きたくない高校の理由を書けない。
- ・ 先生に指導されそのように書くというのがほとんどの場合なので、大して意味があると思えないから。
- ・ 後期・再募集は第2第3希望だから理由が書きにくい。
- ・ 同じ学校なら前のでいいと思うから。 ・ 再募集は志願書がほとんど嘘の場合があるから。

(2) 保護者

- ① 志願理由書を何回も書くことに負担を感じたから
- ② 同じ学校を受験するときにも書かなければならなかったから
- ③ 志願理由書がどのように扱われているのか分からなかったから
- ④ その他

	全体 (人)	東部学区の高校 (人)	高知学区の高校 (学区あり) (人)	高知学区の高校 (学区なし) (人)	高吾学区の高校 (人)	幡多学区の高校 (人)
①	55	5	9	23	12	6
②	42	8	11	8	5	10
③	27	2	7	9	5	4
④	45	5	7	18	5	10

	全体 (%)	東部学区の高校 (%)	高知学区の高校 (学区あり) (%)	高知学区の高校 (学区なし) (%)	高吾学区の高校 (%)	幡多学区の高校 (%)
①	32.5	25.0	26.5	39.7	44.4	20.0
②	24.9	40.0	32.4	13.8	18.5	33.3
③	16.0	10.0	20.6	15.5	18.5	13.3
④	26.6	25.0	20.6	31.0	18.5	33.3

その他

- ・ 全ての子が本当のことを書いているとは思えないし、受験のためにクラブをやるとかボランティア活動とか一生懸命なのかよく理解できないし、活発に行動する子とできない子ではどうかと思う。
- ・ 中学生にとって意味があまりわかりづらいと思う。
- ・ 志望校が変われば、それぞれ志望する理由があると思うので、それぞれ書くべきだと思います
- ・ 全部の理由があてはまる。重視されていると思えない面接で判断できる。生徒の本心が記入されている場合とそうでない場合がある。
- ・ 中学校は志願先の高校に入学できるよう支援します。チェックを入れるのは当たり前ですが、生徒本人の正確な志願理由を求めるなら試験として書かせるほうがよいと考えます。
- ・ 前期、後期、再募集となった場合、多分ランクを下げた学校を志願することになると思われますが、志望校を変えた場合には、子ども自身は明確な目的はもてないと思います。志願理由書は一番最初（第一希望のみ）だけでよいと思います。
- ・ 自分の気持ちを再確認するにも有効だと思う。
- ・ 経済的な理由で地元の高校に行かせたので、本人に選択肢はなかった。これは志願理由書には書けなかった。

4 中学校長への質問について

質問 志願理由書について、どう思いますか。

- ① 受験する生徒を理解する選考資料としてすべての選抜が必要である
- ② 学力検査のある前期選抜には必要ない
- ③ 後期選抜・再募集には必要ない
- ④ すべての選抜で必要ない

	全体 (人)	東部教育事務所管内 の中学校 (人)	高知市の中学校(人)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (人)	西部教育事務所管内 の中学校 (人)
①	46	8	2	20	16
②	4	2	0	1	1
③	55	14	12	21	8
④	6	1	3	1	1

	全体 (%)	東部教育事務所管内 の中学校 (%)	高知市の中学校 (%)	中部教育事務所管内 の中学校 (高知市を 除く) (%)	西部教育事務所管内 の中学校 (%)
①	41.4	32.0	11.8	46.5	61.5
②	3.6	8.0	0	2.3	3.8
③	49.5	56.0	70.6	48.8	30.8
④	5.4	4.0	17.6	2.3	3.8

5 高等学校長への質問について

質問 志願理由書について、どのように思いますか。

- ① 選考や面接の資料として有用であり、すべての選抜が必要である
- ② 選考や面接の資料として有用ではあるが、学力検査のある前期選抜には必要ない
- ③ 選考や面接の資料として有用ではあるが、後期選抜以降には必要ない
- ④ 選考や面接の資料として有用ではあるが、同じ学校を受験する場合、後期選抜以降には必要ない
- ⑤ 選考や面接の資料として有用ではないため、すべての選抜で必要ない

	全体 (人)
①	17
②	3
③	3
④	9
⑤	2

	全体 (%)
①	50.0
②	8.8
③	8.8
④	26.5
⑤	5.9